

2019年

社会保障に関する意識調査報告書

～制度に関する情報の内容、健康づくり、給付と負担の水準～

厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	3
I 社会保障制度に関する情報についての意識	3
1 社会保障制度についてどれくらい関心があるか	3
2 社会保障制度に関する情報の入手方法	5
3 行政機関からの情報の内容について不満に思うこと	6
4 情報を入手する方法について不満に思うこと	7
5 今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うか	8
II 健康づくりについての意識	9
1 健康づくりのための取り組み	9
2 すでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくり	11
3 どのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うか	13
4 老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて	15
III 社会保障制度についての意識	17
1 将来どのようなことを最も不安に感じているか	17
2 老後の生計を支える手段	19
3 国民生活に役立っていると考ええる社会保障の分野	22
4 今後充実させる必要があると考ええる社会保障の分野	23
5 税と社会保険料の負担水準について	24
6 今後の社会保障制度を維持するための財源について	27
7 今後の社会保障の給付と負担の水準について	30
8 今後の高齢者と現役世代の負担水準について	32
統計表	35
調査票	48

調 査 の 概 要

1 調査の目的

社会保障制度に関する情報の入手や関心度、給付と負担の水準などについての意識を調査することで、今後の社会保障制度改革を含めた厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象

2019年国民生活基礎調査（所得票・貯蓄票）の対象単位区から無作為に抽出した360単位区内のすべての世帯の20歳以上の世帯員を調査対象とした。

3 調査の実施日

2019年7月11日（木）

4 調査の事項

(1) 性・出生年月

(2) 社会保障制度への関心度、社会保障制度に関する情報の入手方法、社会保障制度に関する情報の内容への不満、健康づくりの取り組み、将来への不安、老後の生計を支える手段、今後充実させるべき社会保障分野、社会保障の給付と負担についての考え方 等

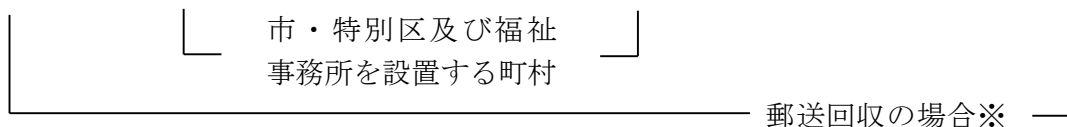
5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に、調査対象となった世帯員が自ら記入し、後日調査員が回収する方式（留置自計方式）により実施した。

ただし、調査員が再三訪問しても不在等で一度も面接できない世帯に限り、郵送にて調査票を回収した。

6 調査の系統

厚生労働省 — 都道府県 ————— 福祉事務所 — 調査員 — 世帯員



※ 調査員が再三訪問しても不在等で一度も面接できない世帯に限る。

7 回収客体数及び集計客体数

調査客体数 (A)	回収客体数	集計客体数 (B)	(B/A)
11,538人	8,735人	8,219人	71.2%

8 集計客体の性・年齢階級別客体数

上段：世帯員数
下段：構成割合(%)

	総 数	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	(再掲) 65歳以上
総 数	8,219 100.0	585 7.1	1,008 12.3	1,286 15.6	1,251 15.2	1,652 20.1	2,437 29.7	3,337 40.6
男性	3,911 100.0	285 7.3	483 12.3	627 16.0	621 15.9	817 20.9	1,078 27.6	1,525 39.0
女性	4,308 100.0	300 7.0	525 12.2	659 15.3	630 14.6	835 19.4	1,359 31.5	1,812 42.1

9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

－ 計数のない場合

(2) 掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) 調査結果の概要の図において、一部表章を省略した数値については、巻末統計表に掲載している。

調査結果の概要

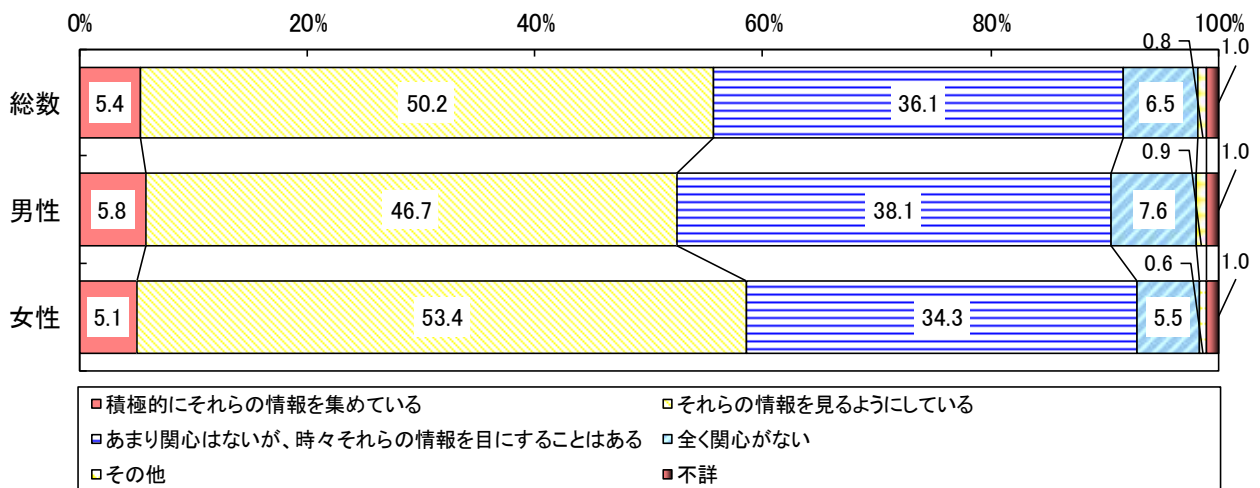
I 社会保障制度に関する情報についての意識

1. 社会保障制度についてどれくらい関心があるか

- ・ 社会保障制度についての関心は、「それらの情報を見るようにしている」が約5割
29歳以下は「あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある」と「全く関心がない」で約7割

年金、医療、介護、子ども・子育て支援などの社会保障制度について、どれくらい関心があるかについては、「それらの情報を見るようにしている」が最も多く 50.2%、次いで「あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある」が 36.1%、「全く関心がない」が 6.5%、「積極的にそれらの情報を集めている」が 5.4%となっている。

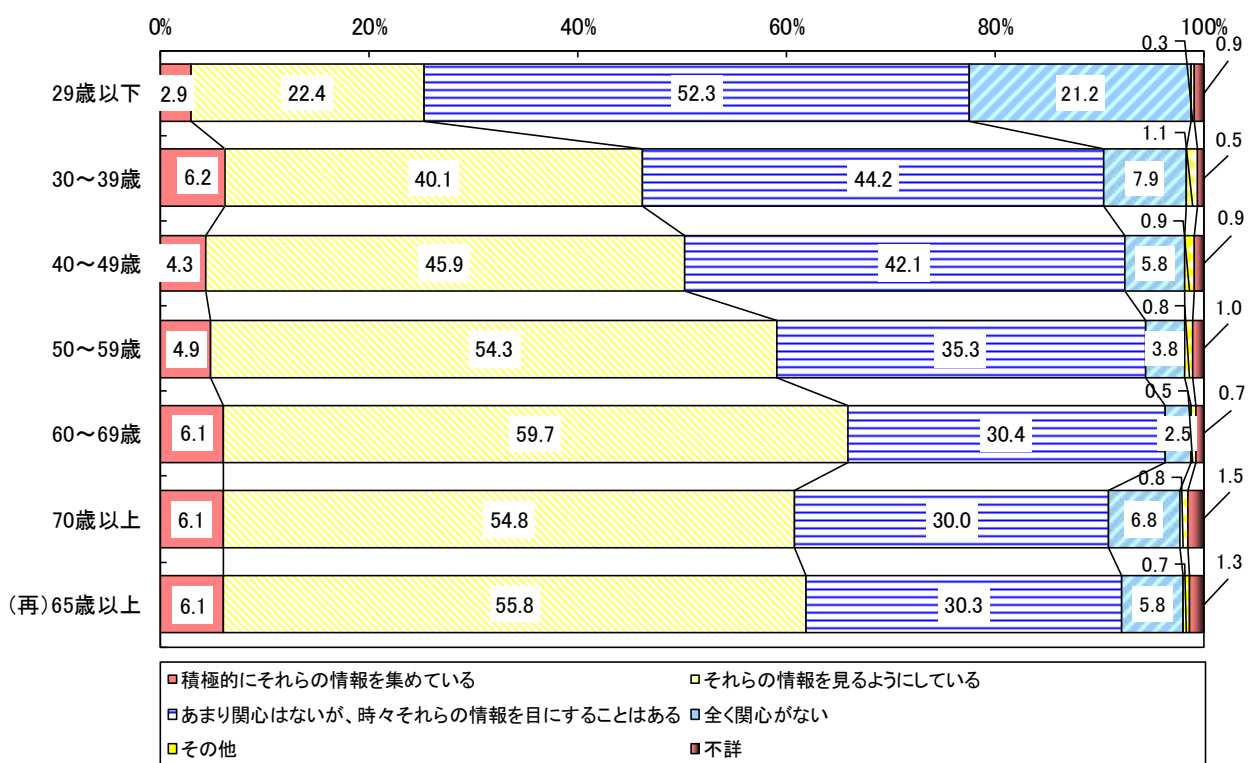
図1 社会保障制度についてどれくらい関心があるか



年齢階級別にみると、69歳までの各年齢階級では、年齢階級が上がるにつれて、「積極的にそれらの情報を集めている」と「それらの情報を見るようにしている」を合わせた割合が多くなる一方、「あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある」と「全く関心がない」を合わせた割合が少なくなっている。

29歳以下では、「あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある」と「全く関心がない」を合わせた割合が73.5%となっており、他の年齢階級に比べ、社会保障制度についての関心が低いことがうかがえる。

図2 年齢階級別にみた社会保障制度についてどれくらい関心があるか

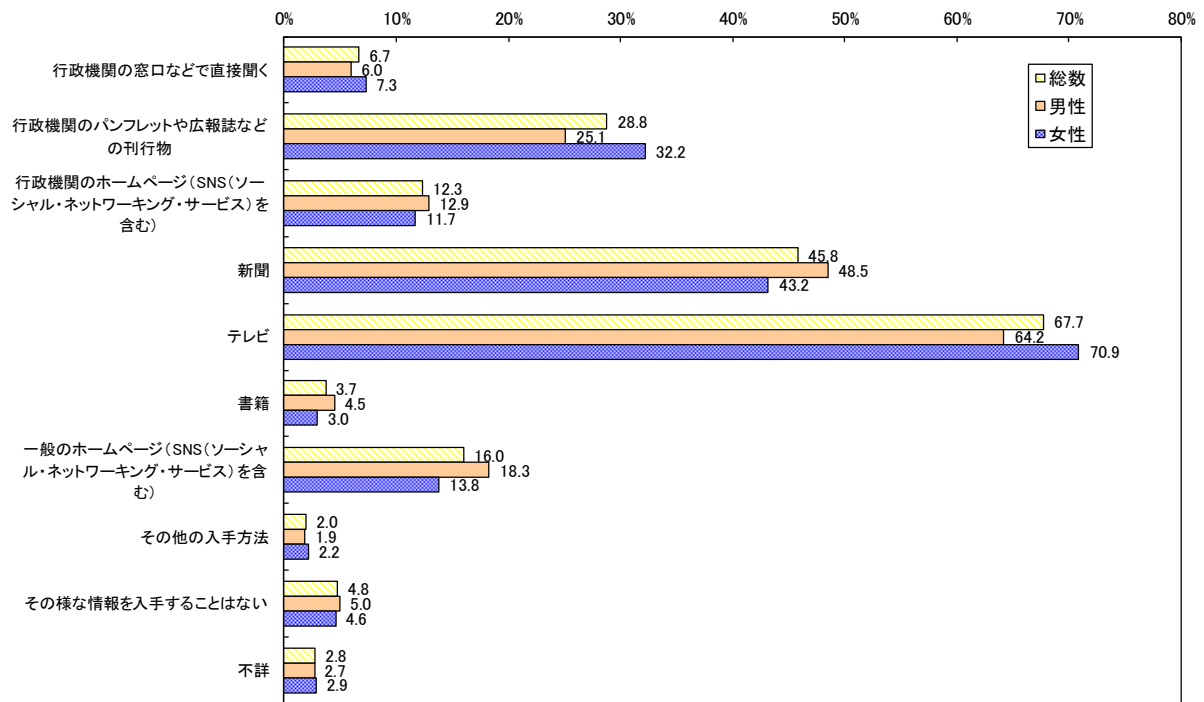


2. 社会保障制度に関する情報の入手方法

- ・ 社会保障制度に関する情報の入手方法は、「テレビ」が約7割、「新聞」が約5割

社会保障制度に関する情報をどのような方法で入手することが多いかについては、「テレビ」が最も多く67.7%、次いで「新聞」が45.8%、「行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物」が28.8%となっている。

図3 社会保障制度に関する情報の入手方法（複数回答）



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「テレビ」が最も多くなっているが、次いで多いのは、若い世代では「一般のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)」、高年齢層では「新聞」となっている。

表1 年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の入手方法（複数回答）

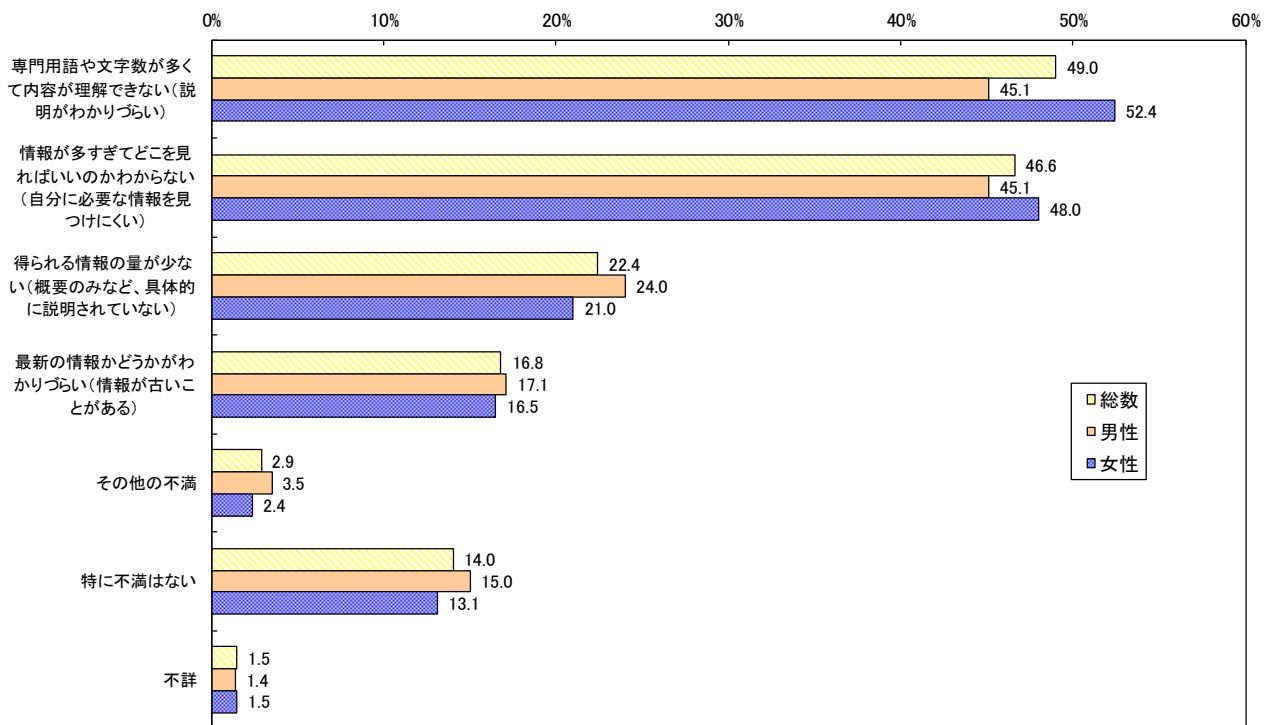
	総数	行政機関の窓口などで直接聞く	行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物	行政機関のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	新聞	テレビ	書籍	一般のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	その他の入手方法	その様な情報を入手することはない	不詳
総数	100.0	6.7	28.8	12.3	45.8	67.7	3.7	16.0	2.0	4.8	2.8
29歳以下	100.0	3.9	7.7	15.6	11.6	50.4	2.4	34.0	1.5	15.7	6.5
30～39歳	100.0	6.5	20.6	22.6	20.4	60.2	3.4	35.3	3.1	6.6	2.4
40～49歳	100.0	5.5	23.2	19.6	32.7	63.5	2.6	26.2	2.9	5.4	2.4
50～59歳	100.0	6.4	25.3	16.7	45.3	70.6	4.5	19.5	2.7	2.7	2.6
60～69歳	100.0	9.3	38.6	10.1	60.0	74.8	6.4	8.5	1.5	1.3	1.5
70歳以上	100.0	6.4	35.5	2.5	61.8	70.8	2.7	1.5	1.3	4.6	3.2
(再)65歳以上	100.0	6.8	36.6	3.7	62.1	72.4	3.6	2.8	1.2	3.7	2.9

3. 行政機関からの情報の内容について不満に思うこと

- ・「専門用語や文字数が多くて内容が理解できない（説明がわかりづらい）」が約5割

行政機関からの社会保障制度に関する情報の内容について不満に思うことについては、「専門用語や文字数が多くて内容が理解できない（説明がわかりづらい）」が49.0%、「情報が多すぎてどこを見ればいいのかかわからない（自分に必要な情報を見つけにくい）」が46.6%となっている。

図4 行政機関からの情報の内容について不満に思うこと（複数回答）



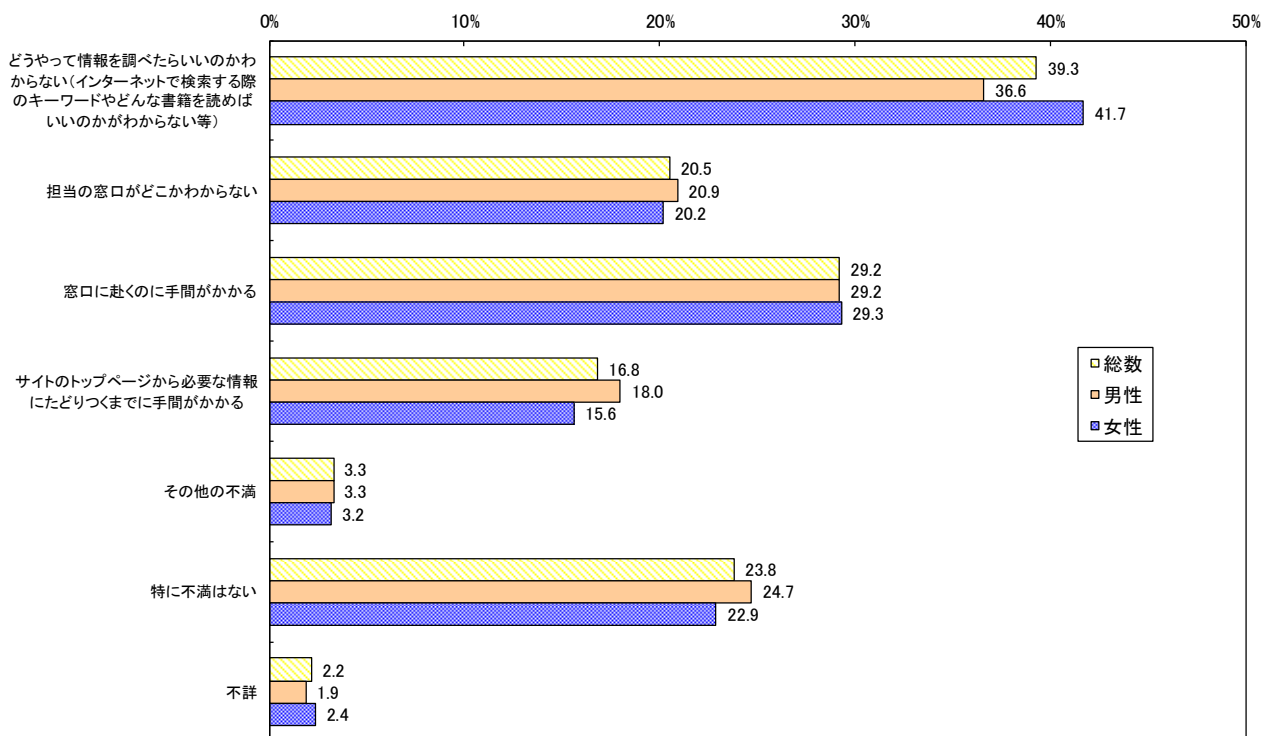
注: 集計対象は、社会保障制度に関する情報の入手方法について「その様な情報を入手することはない」と回答した者及び「不詳」の者を除く。

4. 情報を入手する方法について不満に思うこと

- ・「どうやって情報を調べたらいいのかわからない（インターネットで検索する際のキーワードやどんな書籍を読めばいいのかわからない等）」が約4割

社会保障制度に関する情報を入手する方法について不満に思うことは、「どうやって情報を調べたらいいのかわからない（インターネットで検索する際のキーワードやどんな書籍を読めばいいのかわからない等）」が39.3%、「窓口に赴くのに手間がかかる」が29.2%となっている。

図5 情報を入手する方法について不満に思うこと（複数回答）



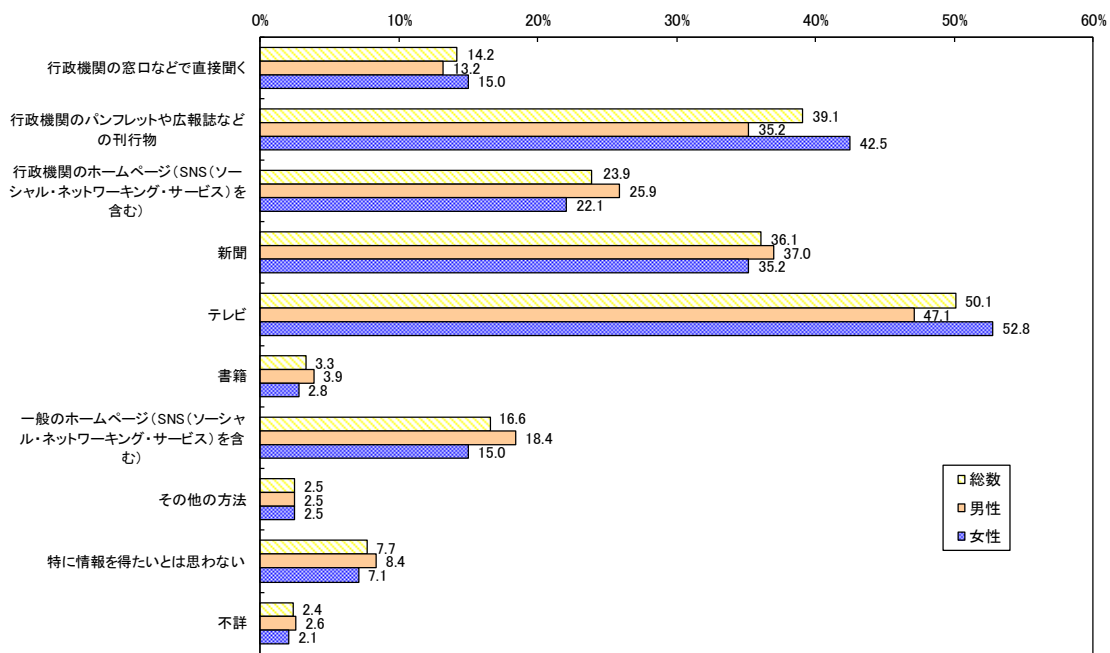
注：集計対象は、社会保障制度に関する情報の入手方法について「その様な情報を入手することはない」と回答した者及び「不詳」の者を除く。

5. 今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うか

- ・「テレビ」が約5割、「行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物」が約4割

社会保障制度に関する情報について、今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うかについては、「テレビ」が最も多く 50.1%、「行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物」が 39.1%、「新聞」が 36.1%となっている。

図6 今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うか（複数回答）



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「テレビ」が最も多くなっているが、若い世代では「行政機関のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)」や「一般のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)」、高年齢層では「行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物」や「新聞」も多くなっている。

表2 年齢階級別にみた今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うか(複数回答)

	総数	行政機関の窓口などで直接聞く	行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物	行政機関のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	新聞	テレビ	書籍	一般のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	その他の方法	特に情報を得たいとは思わない	不詳
総数	100.0	14.2	39.1	23.9	36.1	50.1	3.3	16.6	2.5	7.7	2.4
29歳以下	100.0	8.0	18.5	33.8	9.6	41.2	2.6	33.3	1.5	16.8	2.1
30～39歳	100.0	11.0	29.4	38.9	16.2	44.5	2.2	35.1	4.3	7.1	1.6
40～49歳	100.0	11.8	34.6	39.6	27.0	48.1	3.4	26.4	3.3	6.5	1.9
50～59歳	100.0	16.7	38.6	34.5	34.1	49.8	3.8	21.3	2.8	5.3	1.5
60～69歳	100.0	17.9	51.1	18.9	47.1	53.2	4.3	9.4	1.8	4.2	1.9
70歳以上	100.0	14.4	42.4	5.0	49.0	53.6	2.9	2.3	2.0	10.1	3.7
(再)65歳以上	100.0	14.6	45.1	7.7	49.5	53.8	3.3	3.9	1.9	8.7	3.4

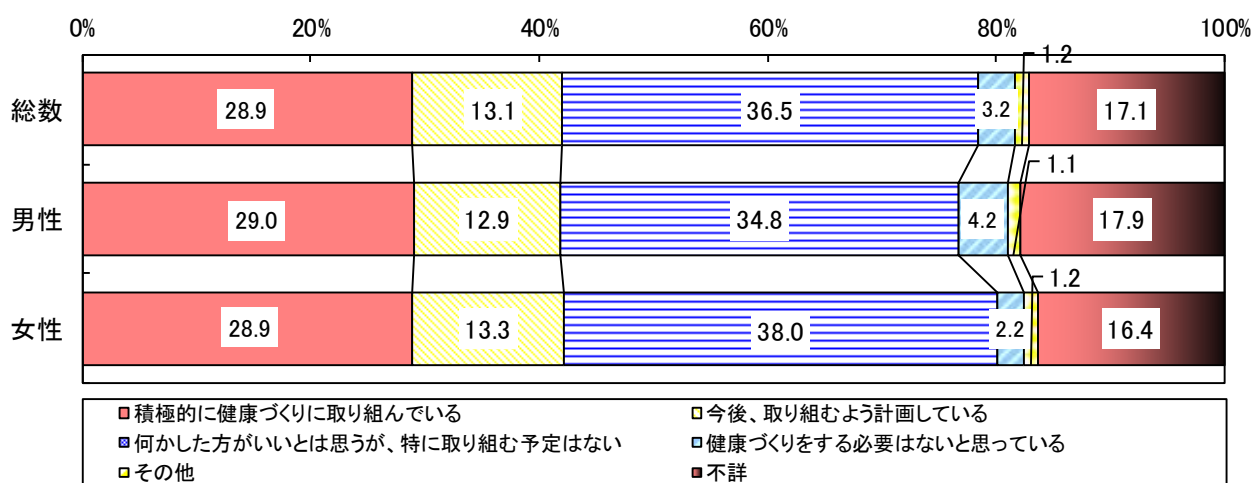
II 健康づくりについての意識

1. 健康づくりのための取り組み

- ・「何かした方がいいとは思いますが、特に取り組む予定はない」が約4割

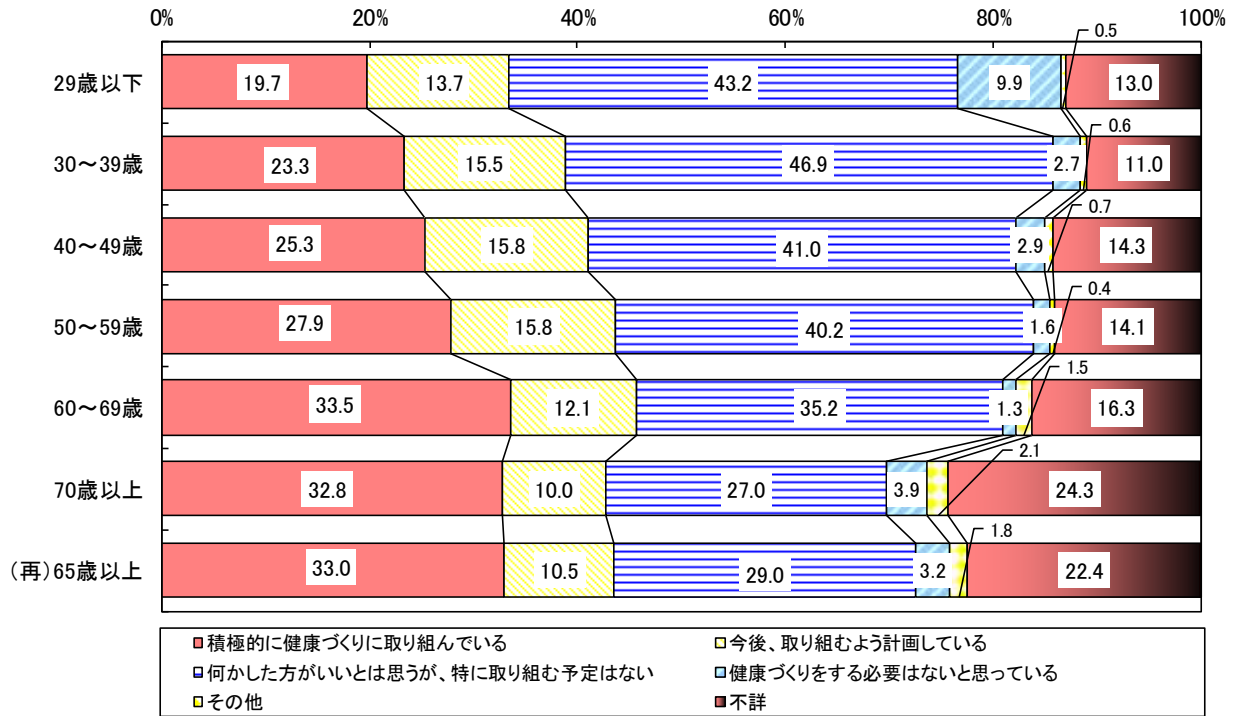
健康づくりのための取り組みをしているかについては、「何かした方がいいとは思いますが、特に取り組む予定はない」が36.5%、次いで「積極的に健康づくりに取り組んでいる」が28.9%、「今後、取り組むよう計画している」が13.1%となっている。

図7 健康づくりのための取り組み



年齢階級別にみると、69歳までの各年齢階級では、「何かした方がいいとは思いますが、特に取り組む予定はない」が最も多くなっているが、70歳以上では、「積極的に健康づくりに取り組んでいる」が最も多くなっている。

図8 年齢階級別にみた健康づくりのための取り組み

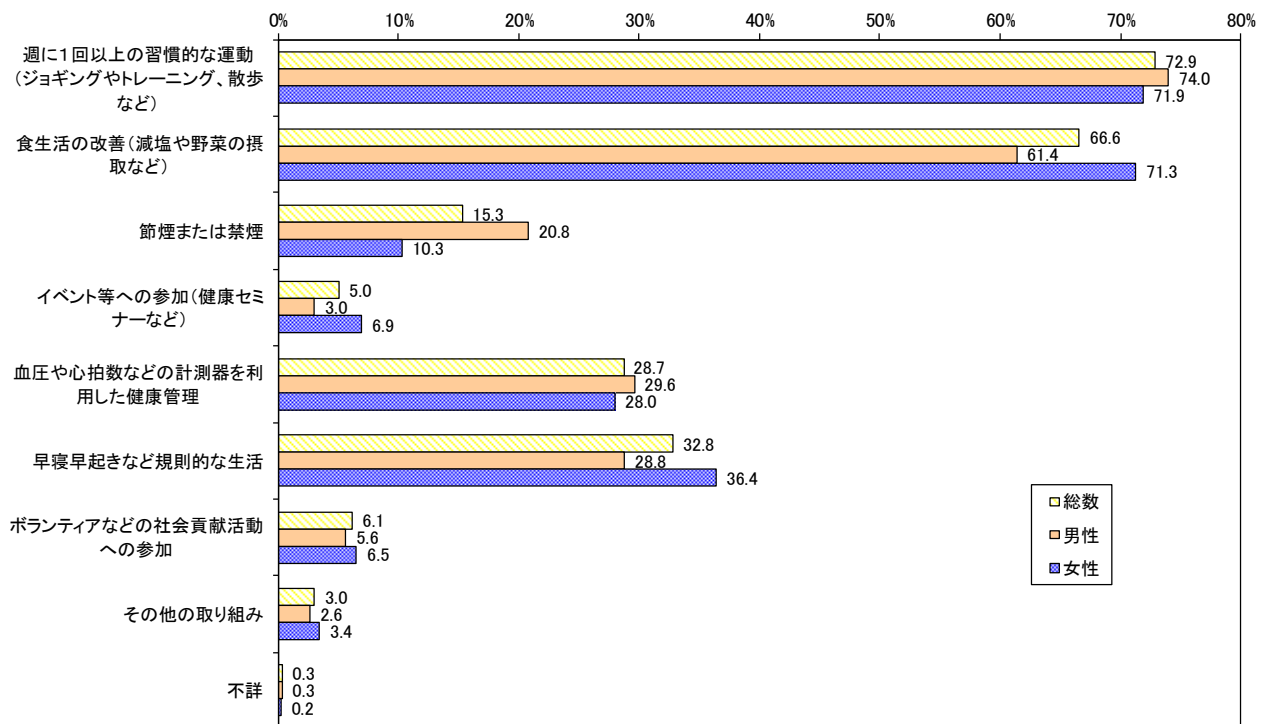


2. すでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくり

- ・週に1回以上の習慣的な運動、食生活の改善がそれぞれ約7割

すでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくりについては、「週に1回以上の習慣的な運動（ジョギングやトレーニング、散歩など）」が最も多く72.9%、次いで「食生活の改善（減塩や野菜の摂取など）」が66.6%となっている。

図9 すでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくり（複数回答）



注：集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「積極的に健康づくりに取り組んでいる」又は「今後、取り組むよう計画している」と回答した者。

年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「週に1回以上の習慣的な運動（ジョギングやトレーニング、散歩など）」が最も多く、次いで「食生活の改善（減塩や野菜の摂取など）」が多くなっている。また、年齢階級が上がるにつれて、「血圧や心拍数などの計測器を利用した健康管理」の割合が多くなっている。

表3 年齢階級別にみたとすでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくり（複数回答）

	総数	週に1回以上の習慣的な運動（ジョギングやトレーニング、散歩など）	食生活の改善（減塩や野菜の摂取など）	節煙または禁煙	イベント等への参加（健康セミナーなど）	血圧や心拍数などの計測器を利用した健康管理	早寝早起きなど規則的な生活	ボランティアなどの社会貢献活動への参加	その他の取り組み	不詳
総数	100.0	72.9	66.6	15.3	5.0	28.7	32.8	6.1	3.0	0.3
29歳以下	100.0	71.3	54.9	21.5	1.0	3.6	27.7	2.1	1.0	-
30～39歳	100.0	72.1	65.5	13.3	1.3	7.4	31.2	1.8	2.0	-
40～49歳	100.0	71.3	63.5	14.2	2.5	13.2	28.4	3.2	2.6	0.8
50～59歳	100.0	72.2	67.8	15.9	2.4	21.4	27.4	4.0	2.7	0.4
60～69歳	100.0	74.4	70.2	15.6	4.5	39.0	35.1	8.4	3.4	0.4
70歳以上	100.0	73.7	67.6	14.8	10.3	45.8	37.7	9.3	3.7	-
(再)65歳以上	100.0	74.4	68.6	15.3	8.5	43.9	36.5	9.3	3.5	0.1

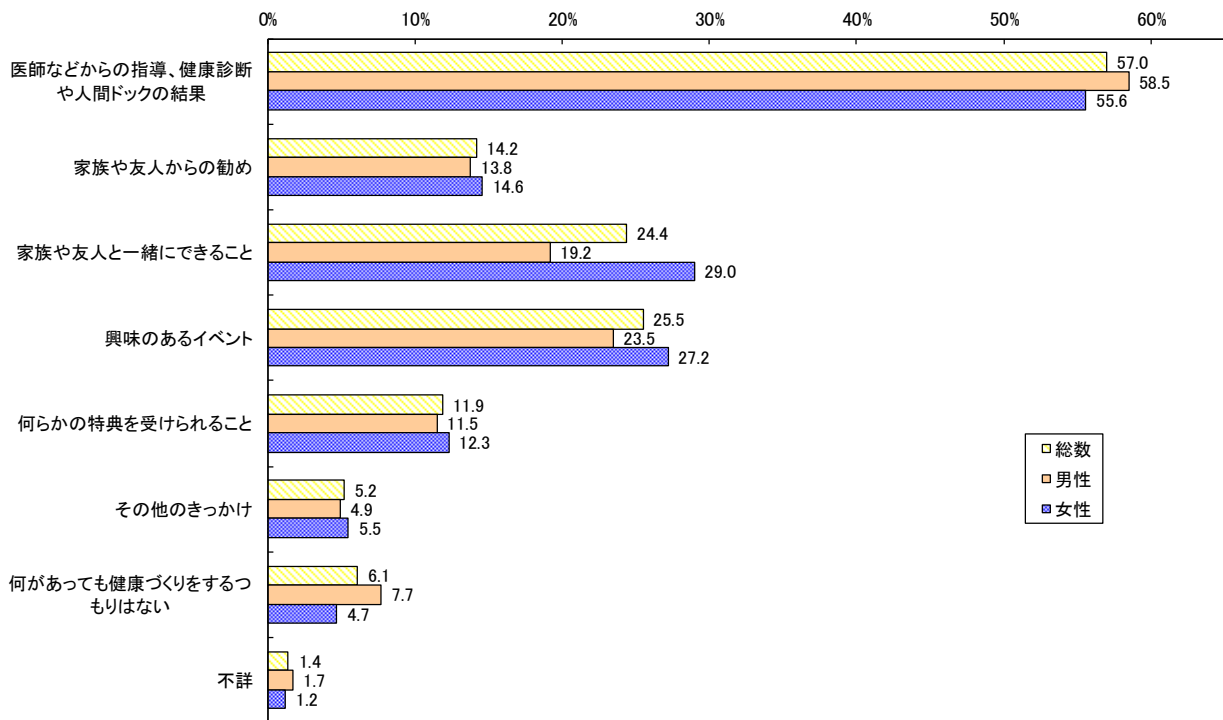
注：集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「積極的に健康づくりに取り組んでいる」又は「今後、取り組むよう計画している」と回答した者。

3. どのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うか

- ・「医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果」が約6割

どのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うかについては、「医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果」が最も多く57.0%、次いで「興味のあるイベント」が25.5%、「家族や友人と一緒にできること」が24.4%となっている。

図10 どのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うか（複数回答）



注：集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「何かした方がいいとは思うが、特に取り組む予定はない」又は「健康づくりをする必要はないと思っている」と回答した者。

年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果」が最も多く、次いで69歳までの各年齢階級では、「興味のあるイベント」が、70歳以上では、「家族や友人と一緒にできること」が多くなっている。また、年齢階級が上がるにつれて、「家族や友人からの勧め」の割合が多くなっている。

表4 年齢階級別にみたどのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うか（複数回答）

(単位:%)

	総数	医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果	家族や友人からの勧め	家族や友人と一緒にできること	興味のあるイベント	何らかの特典を受けられること	その他のきっかけ	何があっても健康づくりをするつもりはない	不詳
総数	100.0	57.0	14.2	24.4	25.5	11.9	5.2	6.1	1.4
29歳以下	100.0	54.0	9.3	25.7	34.1	15.1	3.2	4.8	2.3
30～39歳	100.0	57.4	11.6	26.6	29.2	19.2	7.0	4.8	1.0
40～49歳	100.0	57.3	13.5	25.4	27.3	17.9	6.6	4.6	1.2
50～59歳	100.0	56.2	13.6	26.6	33.1	13.8	5.5	4.6	0.6
60～69歳	100.0	60.4	15.7	23.3	24.7	6.6	5.6	4.3	1.8
70歳以上	100.0	55.4	17.8	21.0	13.5	4.2	3.3	11.3	1.9
(再)65歳以上	100.0	56.4	17.5	20.9	16.1	5.0	3.7	9.6	2.1

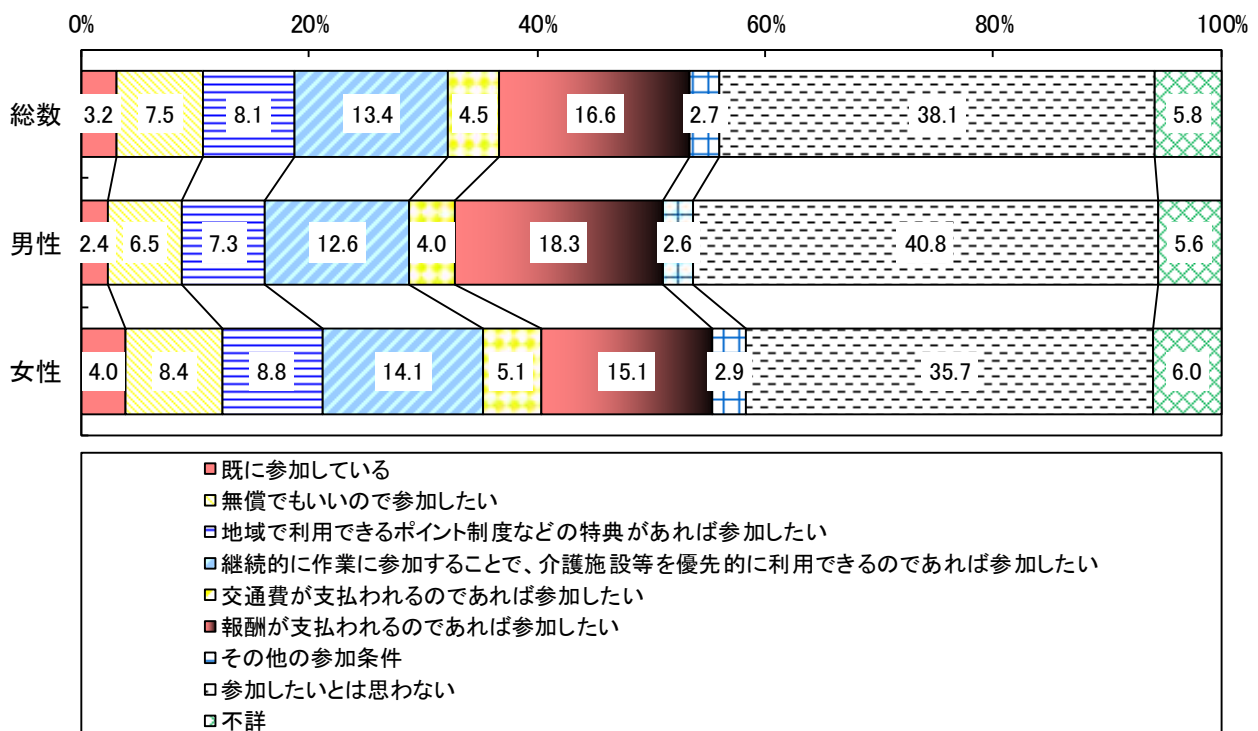
注: 集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「何かした方がいいとは思いますが、特に取り組む予定はない」又は「健康づくりをする必要はないと思っている」と回答した者。

4. 老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて

- ・何らかのメリットがあれば参加したい者、参加したいとは思わない者がそれぞれ約4割

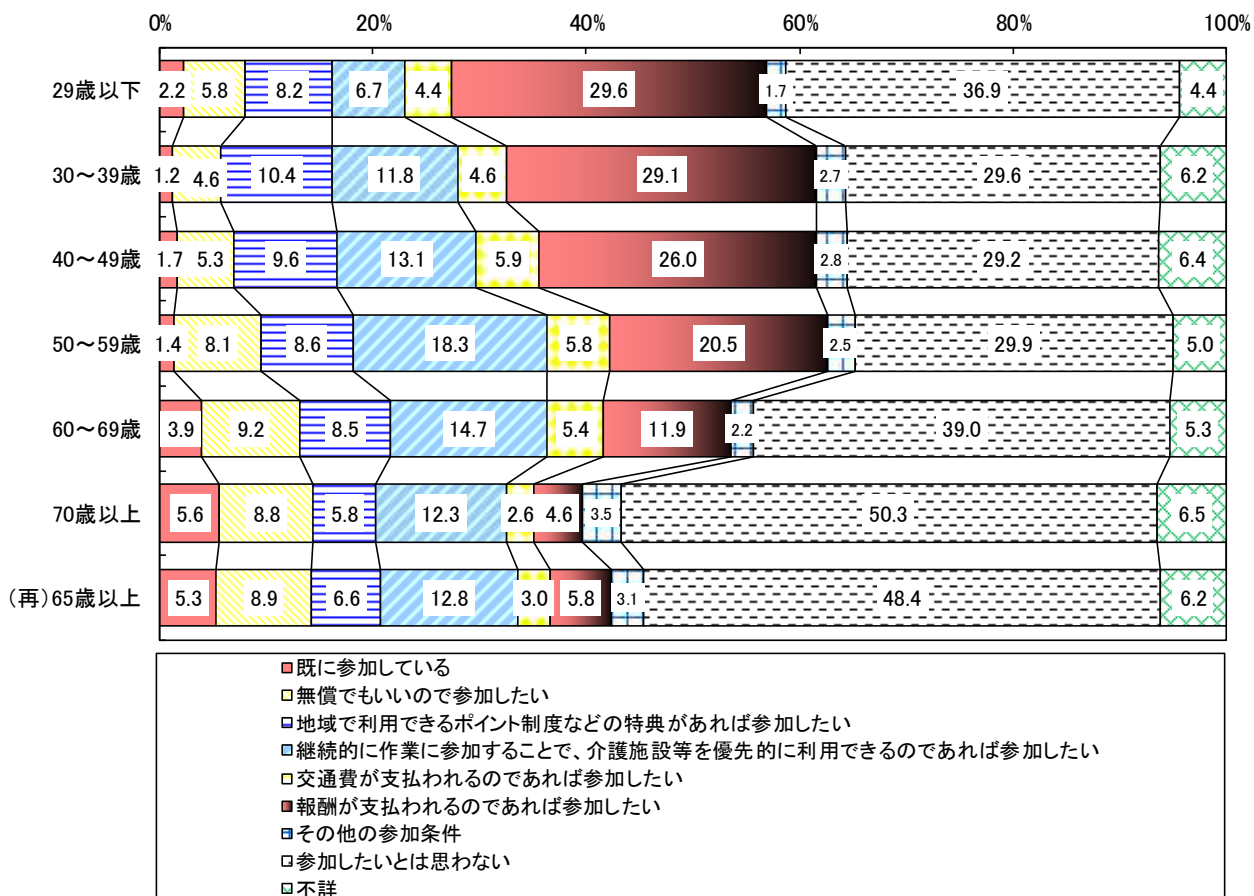
老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて、どのように考えるかについては、「参加したいとは思わない」が最も多く38.1%であるが、何らかのメリット（報酬、介護施設等の優先利用、地域で利用できるポイント制度などの特典、交通費など）があれば参加したいと考える者を合わせると4割を超えている。

図1-1 老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「参加したいとは思わない」が最も多くなっているが、次いで多いのは、若い世代では「報酬が支払われるのであれば参加したい」、高年齢層では「継続的に作業に参加することで、介護施設等を優先的に利用できるのであれば参加したい」となっている。

図 1 2 年齢階級別にみた老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて



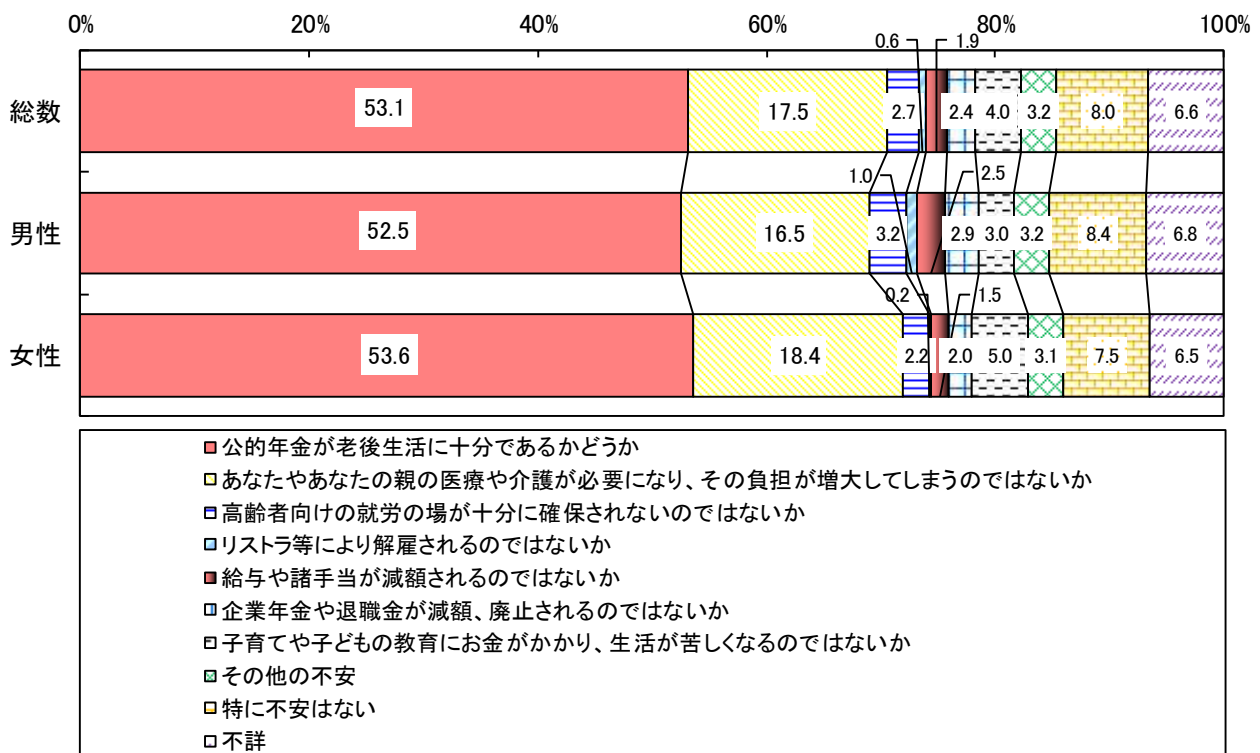
Ⅲ 社会保障制度についての意識

1. 将来どのようなことを最も不安に感じているか

- ・「公的年金が老後生活に十分であるかどうか」が約5割

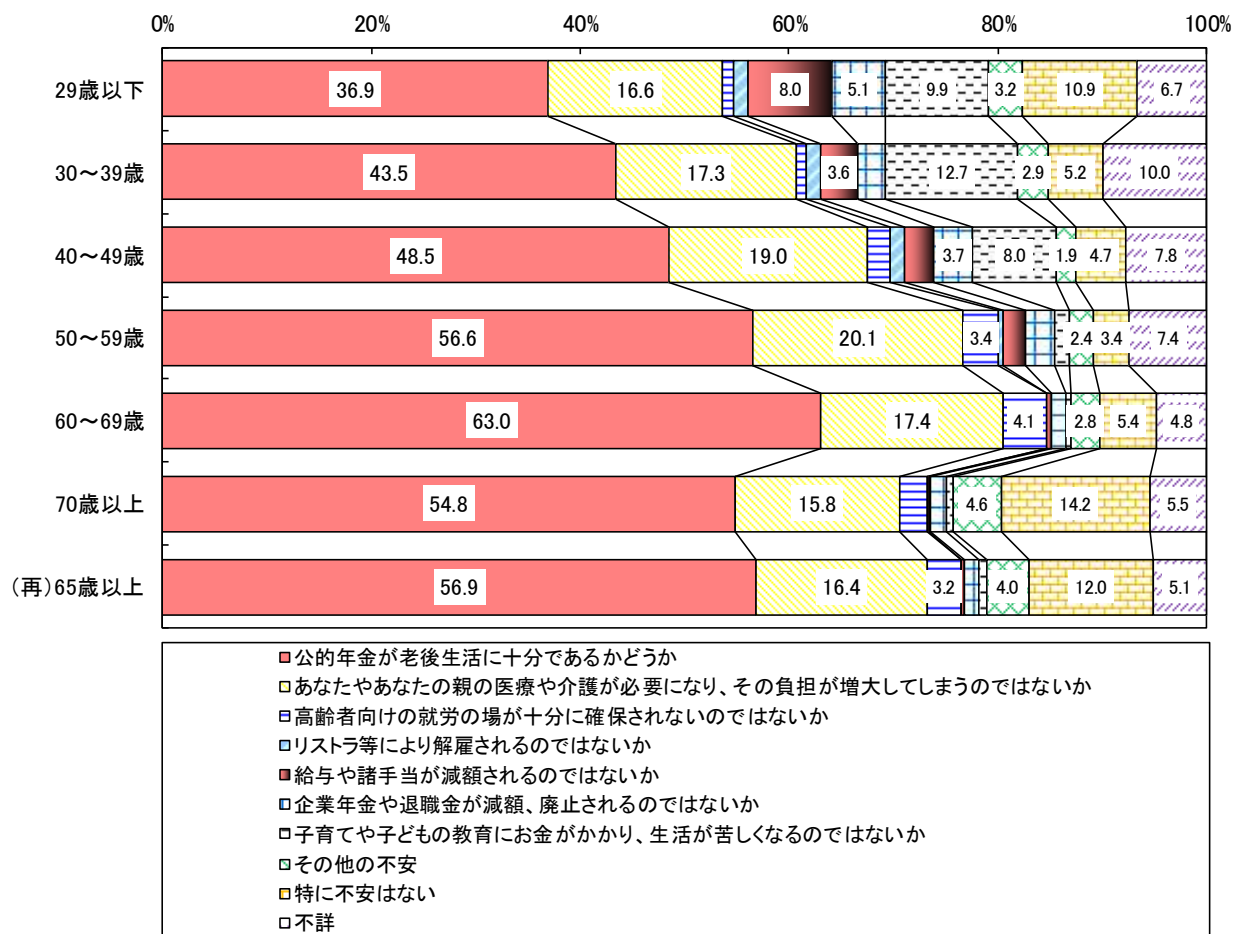
将来どのようなことを最も不安に感じているかについては、「公的年金が老後生活に十分であるかどうか」が最も多く 53.1%、次いで「あなたやあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないか」が 17.5%となっている。

図 13 将来どのようなことを最も不安に感じているか



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「公的年金が老後生活に十分であるかどうか」が最も多く、次いで「あなたやあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないかと」が多くなっている。49歳以下では、「子育てや子どもの教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないかと」が10%前後となっている。また、29歳以下と70歳以上では、「特に不安はない」が10%を超えているが、他の年齢階級では、5%前後となっている。

図14 年齢階級別にみた将来どのようなことを最も不安に感じているか

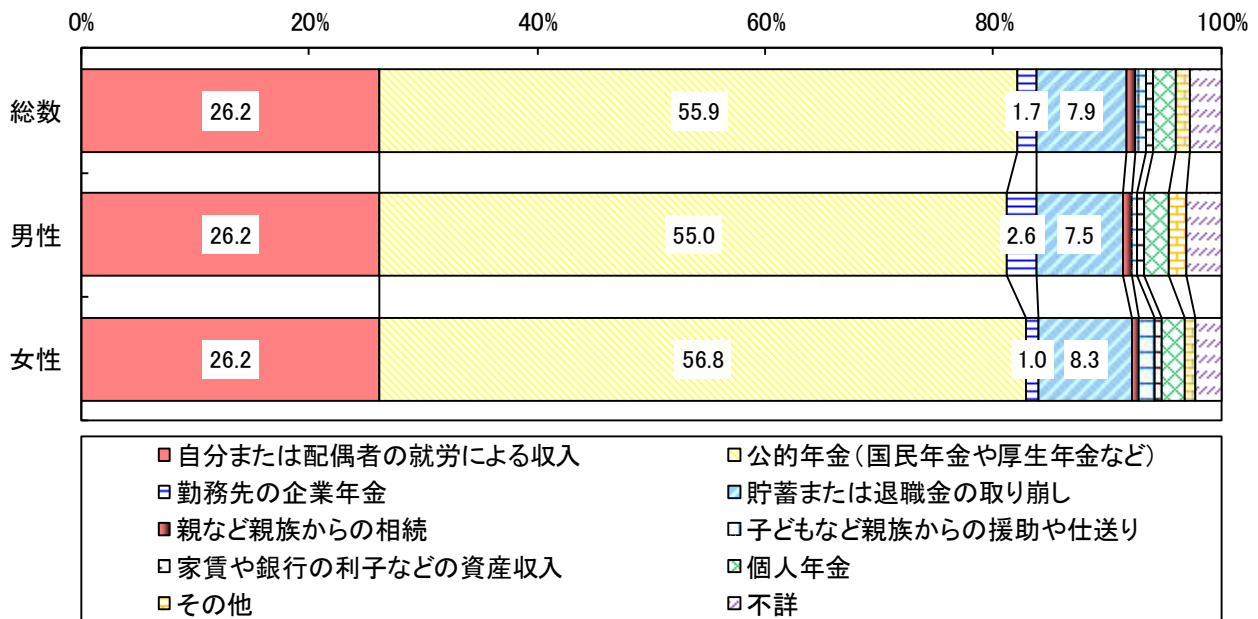


2. 老後の生計を支える手段

- ・ 1 番目に頼りにするものは公的年金が約 6 割

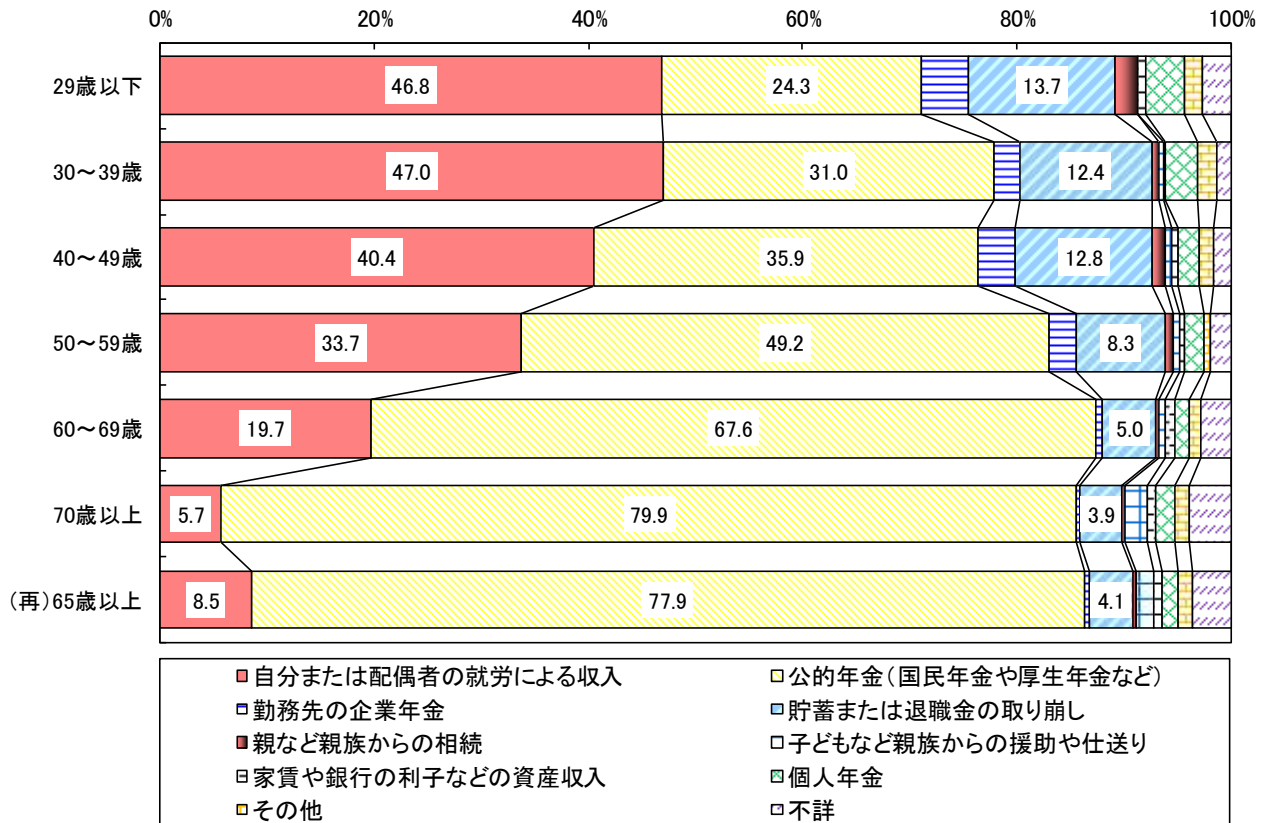
老後の生計を支える手段として、1 番目に頼りにするものは、「公的年金（国民年金や厚生年金など）」が最も多く 55.9%、次いで「自分または配偶者の就労による収入」が 26.2%となっている。

図 15 老後の生計を支える手段として 1 番目に頼りにするもの



年齢階級別にみると、若い世代では「自分または配偶者の就労による収入」が最も多く5割弱を占めているが、年齢階級が上がるにつれて、「公的年金（国民年金や厚生年金など）」の割合が多くなり、70歳以上では8割を占めている。

図16 年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするもの



老後の生計を支える手段について、1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せをみると、1番目に頼りにするものが「公的年金（国民年金や厚生年金など）」、2番目に頼りにするものが「貯蓄または退職金の取り崩し」の組合せが最も多く21.3%、次いで1番目に頼りにするものが「自分または配偶者の就労による収入」、2番目に頼りにするものが「公的年金（国民年金や厚生年金など）」の組合せが14.9%となっている。

年齢階級別にみると、前者の組合せは高年齢層において、後者の組合せは若い世代において、それぞれ多いことが示唆される。

表5 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

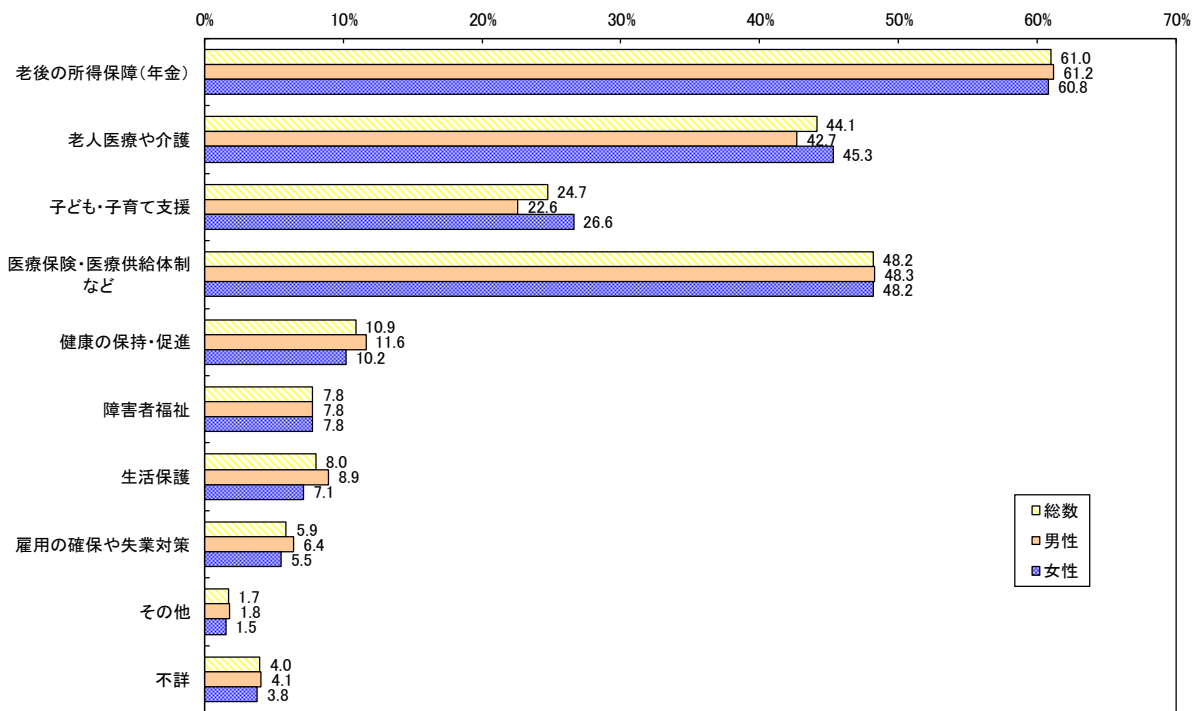
	総数	1番目に頼りにするもの										
		自分または配偶者の就労による収入	公的年金(国民年金や厚生年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳	
2番目に頼りにするもの	総数	100.0	26.2	55.9	1.7	7.9	0.7	1.0	0.6	2.0	1.3	2.7
	自分または配偶者の就労による収入	13.1	-	10.8	0.3	1.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	-
	公的年金(国民年金や厚生年金など)	21.4	14.9	-	0.6	4.3	0.2	0.4	0.2	0.7	0.1	-
	勤務先の企業年金	3.9	0.8	2.5	-	0.5	0.0	-	0.0	0.0	-	-
	貯蓄または退職金の取り崩し	27.8	5.1	21.3	0.6	-	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	-
	親など親族からの相続	1.9	0.8	0.8	0.0	0.1	-	0.1	0.0	0.0	0.0	-
	子どもなど親族からの援助や仕送り	4.8	0.4	4.0	0.0	0.2	0.0	-	0.1	0.1	0.0	-
	家賃や銀行の利子などの資産収入	1.2	0.2	0.8	0.0	0.1	0.0	-	-	0.1	0.0	-
	個人年金	4.5	0.9	2.6	0.1	0.6	0.1	0.1	0.1	-	0.0	-
	その他	2.3	0.4	1.6	0.0	0.2	-	0.0	-	0.0	-	-
	不詳	19.2	2.6	11.6	0.1	0.5	0.1	0.2	0.0	0.4	1.0	2.7

3. 国民生活に役立っていると考える社会保障の分野

- ・「老後の所得保障（年金）」が約6割

国民生活に役立っていると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が最も多く61.0%、次いで「医療保険・医療供給体制など」が48.2%、「老人医療や介護」が44.1%、「子ども・子育て支援」が24.7%となっている。

図17 国民生活に役立っていると考える社会保障の分野（3つまで回答）



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「医療保険・医療供給体制など」が5割前後と多くなっているほか、若い世代では「子ども・子育て支援」、高年齢層では「老後の所得保障（年金）」や「老人医療や介護」が多くなっている。

表6 年齢階級別にみた国民生活に役立っていると考える社会保障の分野（3つまで回答）

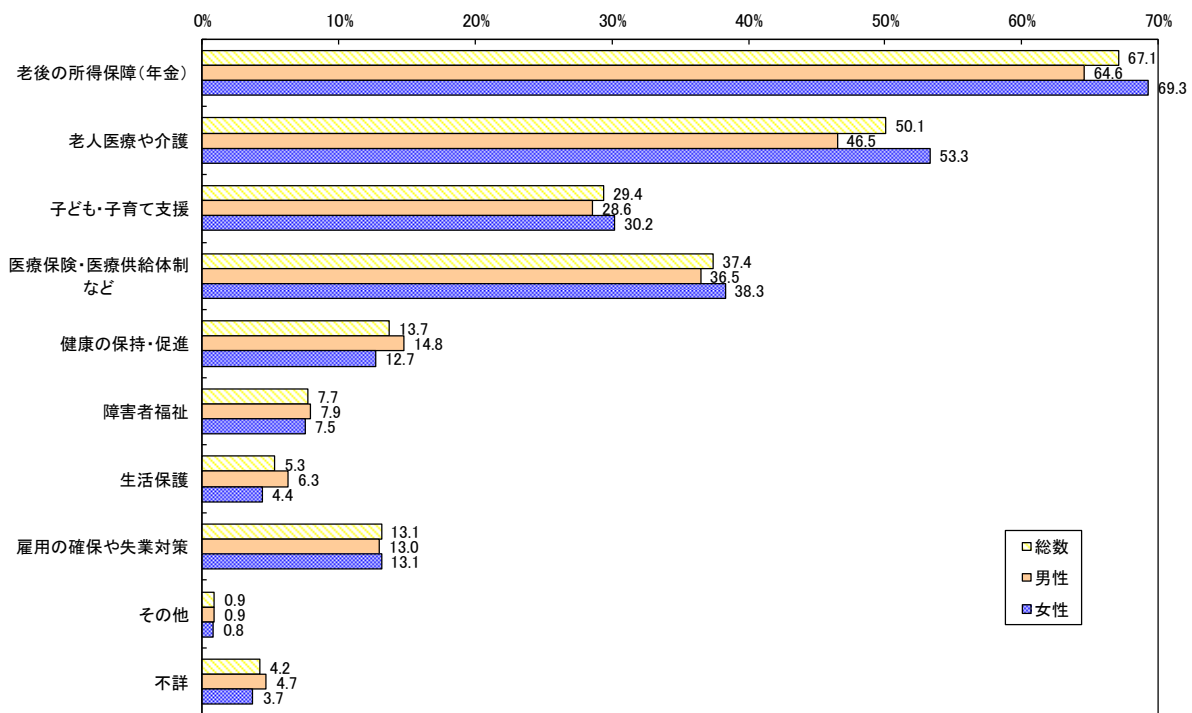
	総数	老後の所得保障(年金)	老人医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	61.0	44.1	24.7	48.2	10.9	7.8	8.0	5.9	1.7	4.0
29歳以下	100.0	30.9	21.5	32.0	50.6	12.5	8.4	10.6	10.4	2.9	4.4
30～39歳	100.0	37.8	23.4	52.7	52.8	8.6	7.9	6.9	8.9	2.1	3.0
40～49歳	100.0	45.2	30.6	41.7	49.8	7.4	8.9	6.9	7.5	3.3	3.6
50～59歳	100.0	59.9	44.7	24.3	48.0	8.6	7.8	9.4	9.0	1.6	3.8
60～69歳	100.0	76.3	53.3	16.9	50.0	11.4	8.5	8.4	4.7	0.7	3.8
70歳以上	100.0	76.4	58.5	8.0	43.9	14.1	6.6	7.3	1.8	1.0	4.6
(再)65歳以上	100.0	77.5	57.5	10.1	45.5	13.4	7.2	7.7	2.2	0.9	4.4

4. 今後充実させる必要があると考える社会保障の分野

- ・「老後の所得保障（年金）」とする者が約7割

今後充実させる必要があると考える社会保障の分野は、「老後の所得保障（年金）」が最も多く67.1%、次いで「老人医療や介護」が50.1%、「医療保険・医療供給体制など」が37.4%、「子ども・子育て支援」が29.4%となっている。

図18 今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（3つまで回答）



年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「老後の所得保障（年金）」が最も多くなっているが、次いで多いのは、39歳までの各年齢階級では「子ども・子育て支援」、40歳以上の各年齢階級では「老人医療や介護」となっている。

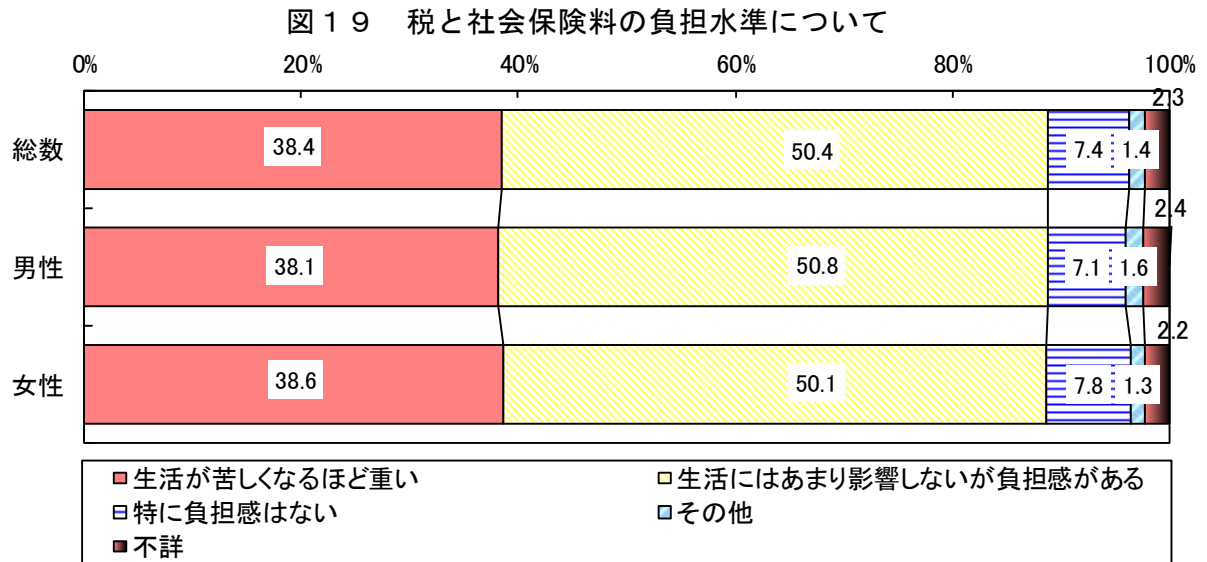
表7 年齢階級別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野（3つまで回答）

	総数	老後の所得保障(年金)	老人医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
総数	100.0	67.1	50.1	29.4	37.4	13.7	7.7	5.3	13.1	0.9	4.2
29歳以下	100.0	51.3	28.9	49.2	30.9	12.3	5.3	5.5	19.8	1.7	4.6
30～39歳	100.0	61.0	33.7	54.7	33.2	11.7	8.0	3.5	16.8	1.5	2.8
40～49歳	100.0	66.3	44.2	35.5	35.2	9.7	8.6	3.2	17.9	1.0	2.8
50～59歳	100.0	71.5	53.4	28.8	36.1	12.4	7.8	5.4	16.1	0.5	2.9
60～69歳	100.0	71.7	57.5	25.3	43.0	14.9	8.4	5.4	12.5	0.5	3.3
70歳以上	100.0	68.4	58.3	14.2	38.8	16.9	7.1	6.9	6.1	0.8	6.8
(再)65歳以上	100.0	69.7	59.0	16.5	40.3	16.5	7.6	6.6	7.3	0.7	5.9

5. 税と社会保険料の負担水準について

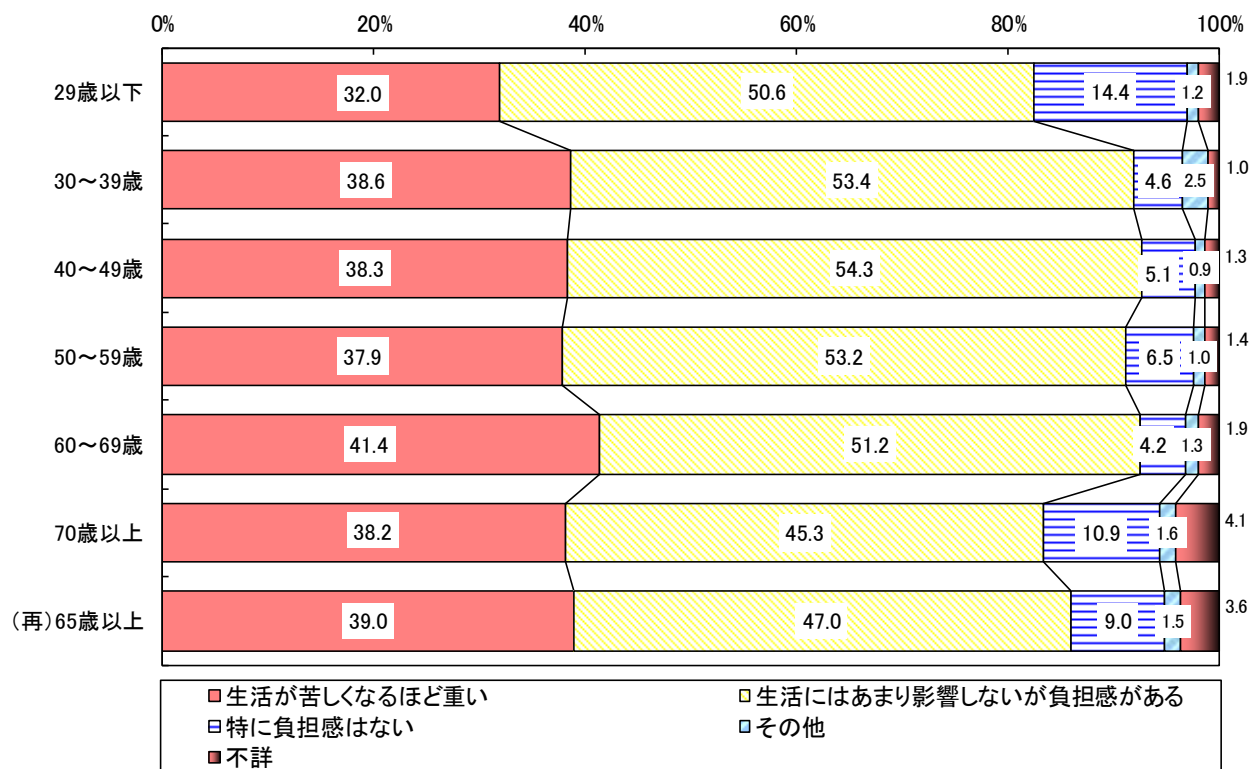
- ・「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が約5割

現在の税と社会保険料の負担水準についてどのように思うかについては、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が最も多く50.4%、次いで「生活が苦しくなるほど重い」が38.4%、「特に負担感はない」が7.4%となっている。



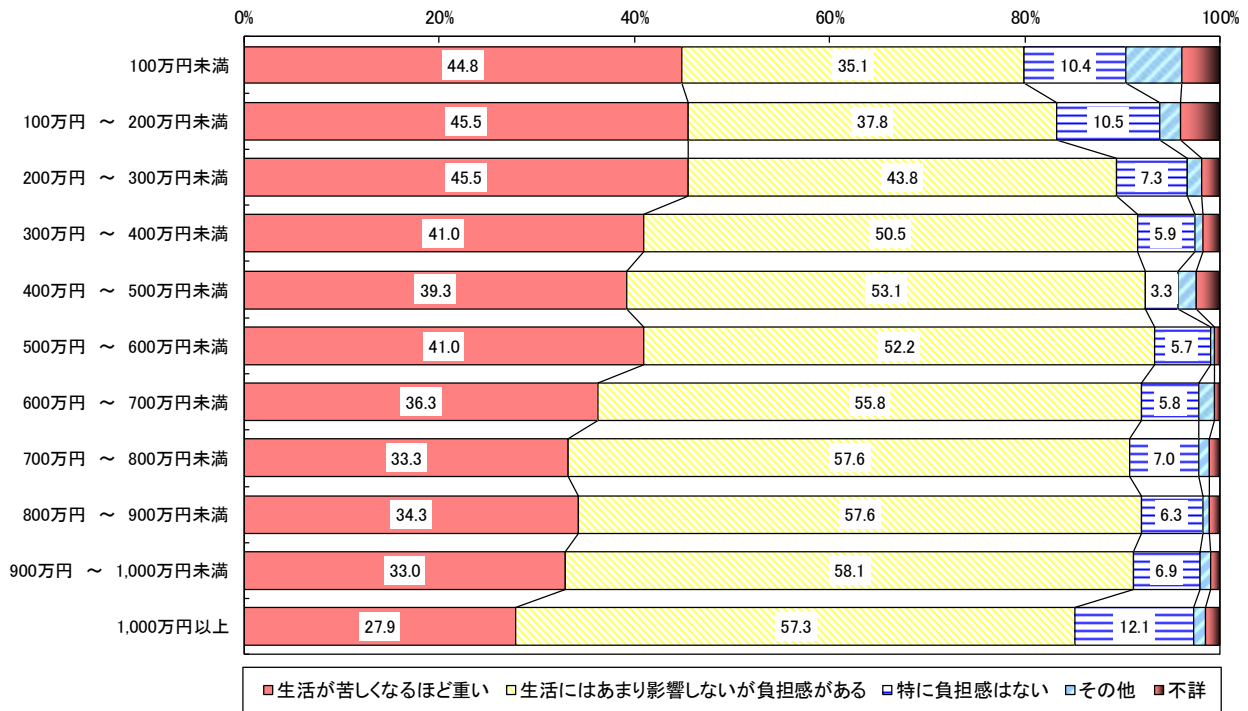
年齢階級別にみると、すべての年齢階級で「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が最も多くなっている。「生活が苦しくなるほど重い」の割合は60～69歳で最も多く41.4%、「特に負担感はない」の割合は29歳以下で14.4%となっており、他の年齢階級に比べ多くなっている。

図20 年齢階級別にみた税と社会保険料の負担水準について



次に、1年間の所得階級別にみると、300万円未満の各所得階級では「生活が苦しくなるほど重い」が最も多く、300万円以上の各所得階級では「生活にはあまり影響しないが負担感がある」が最も多くなっている。概ね所得階級が上がるにつれて、「生活が苦しくなるほど重い」の割合が少なくなり、「生活にはあまり影響しないが負担感がある」の割合が多くなっている。

図 2 1 所得階級別にみた税と社会保険料の負担水準について



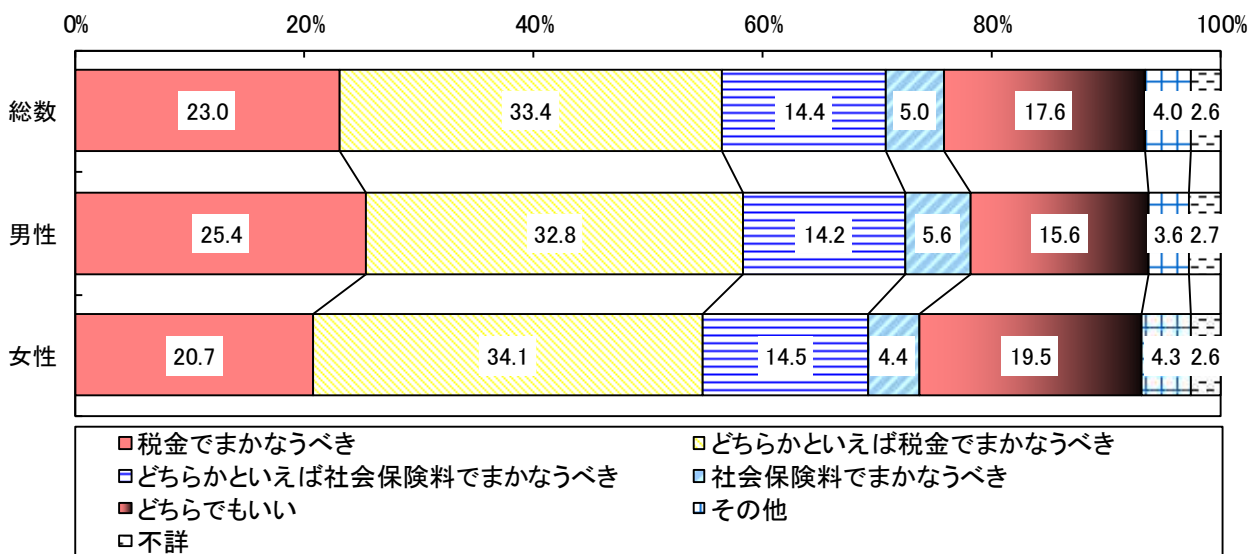
注：所得は、世帯の総所得（雇業者所得、事業所得、農耕・畜産所得、財産所得、家内労働所得及び雑収入並びに私的給付（仕送り、企業年金・個人年金等の合計額）の合計額に社会保障による現金給付額を加えたもの）を世帯人員の平方根で除したもの（等価総所得）である。

6. 今後の社会保障制度を維持するための財源について

- ・「どちらかといえば税金でまかなうべき」が約3割

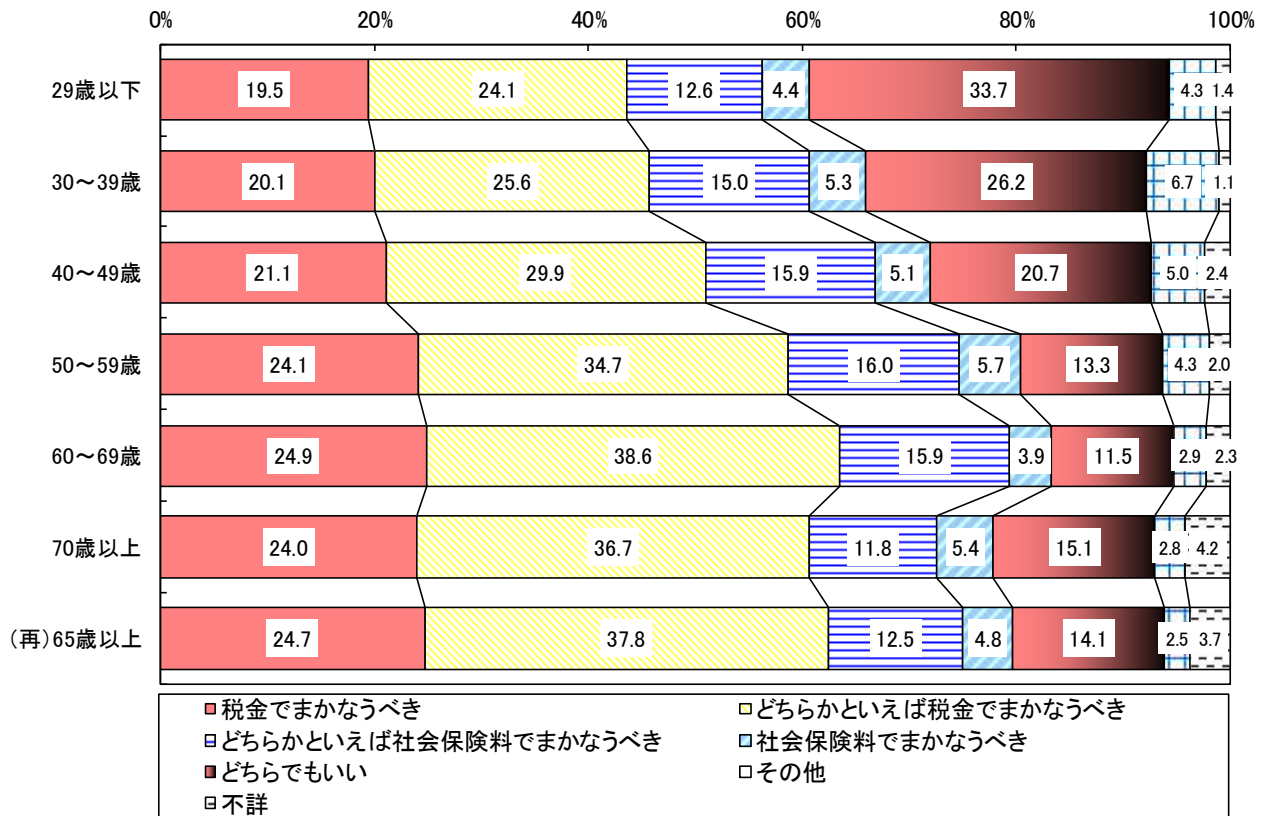
今後の社会保障制度を維持するための財源として、税と社会保険料のどちらを中心にしていくべきだと思うかについては、「どちらかといえば税金でまかなうべき」が最も多く 33.4%、次いで「税金でまかなうべき」が 23.0%、「どちらかといえば社会保険料でまかなうべき」が 14.4%、「社会保険料でまかなうべき」が 5.0%となっている。

図 2 2 今後の社会保障制度を維持するための財源について



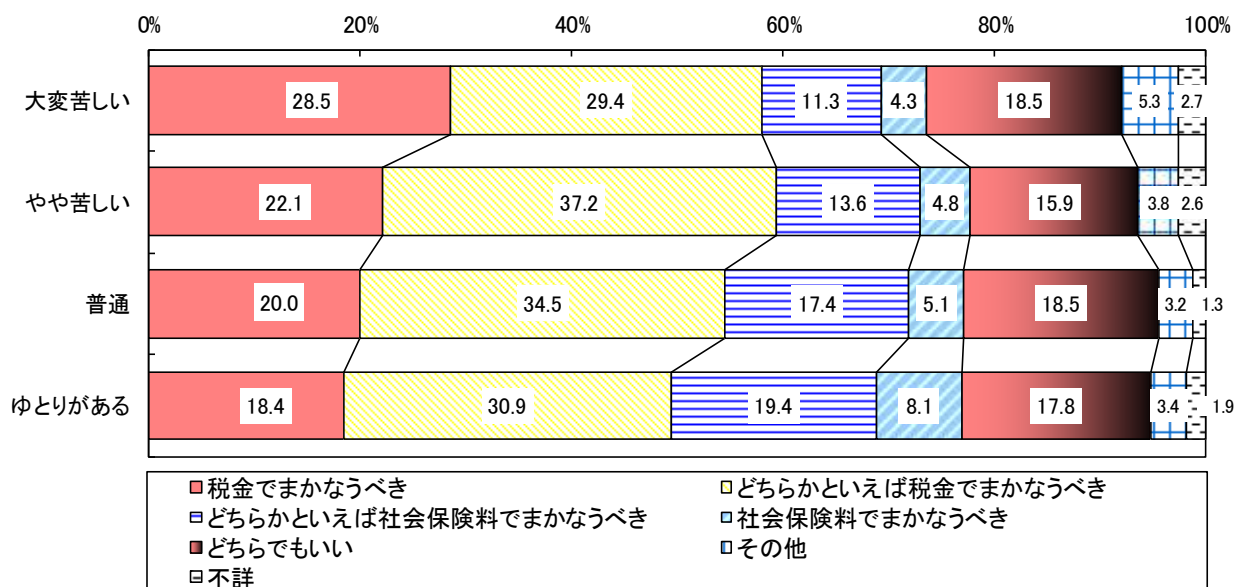
年齢階級別にみると、若い世代では「どちらでもいい」、高年齢層では「どちらかといえば税金でまかなうべき」が最も多くなっている。

図 2 3 年齢階級別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源について



次に、世帯の生活意識別にみると、苦しい（「大変苦しい」または「やや苦しい」）と感じている世帯層では、他の世帯層に比べ、「税金でまかなうべき」の割合が多くなっている。一方、ゆとりがあると感じている世帯層では、他の世帯層に比べ、「どちらかといえば社会保険料でまかなうべき」及び「社会保険料でまかなうべき」の割合が多くなっている。

図 2 4 世帯の生活意識別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源について



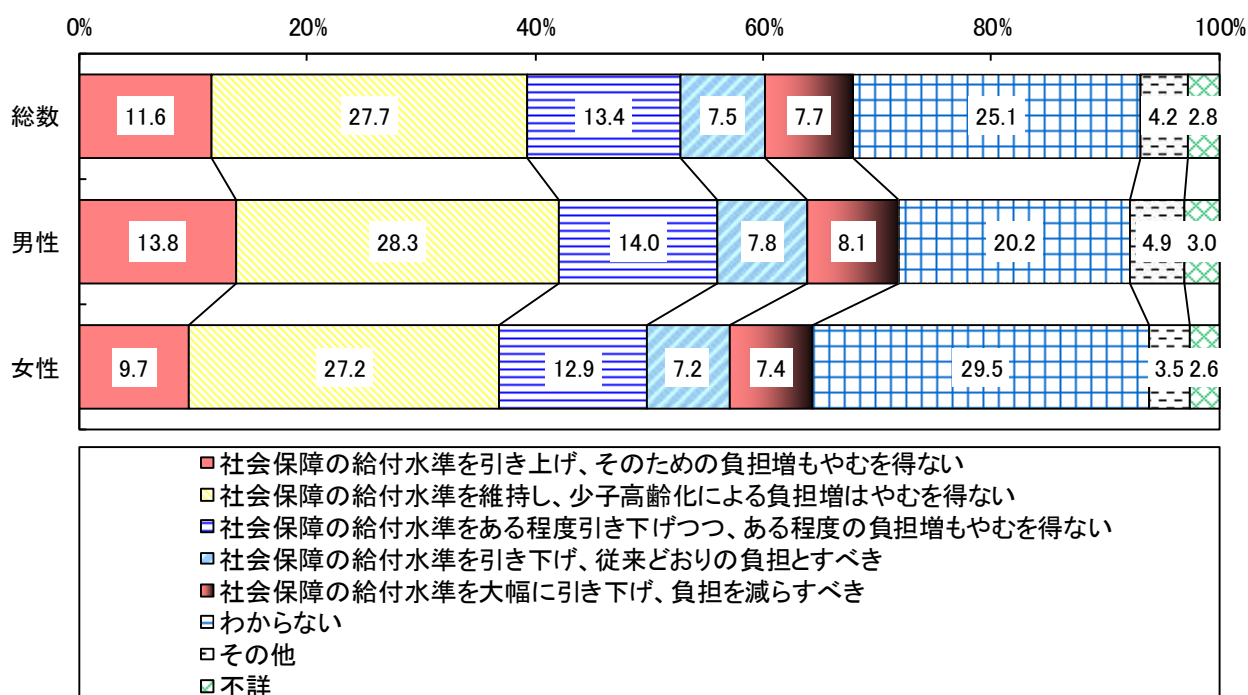
注：客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

7. 今後の社会保障の給付と負担の水準について

- ・「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が約3割

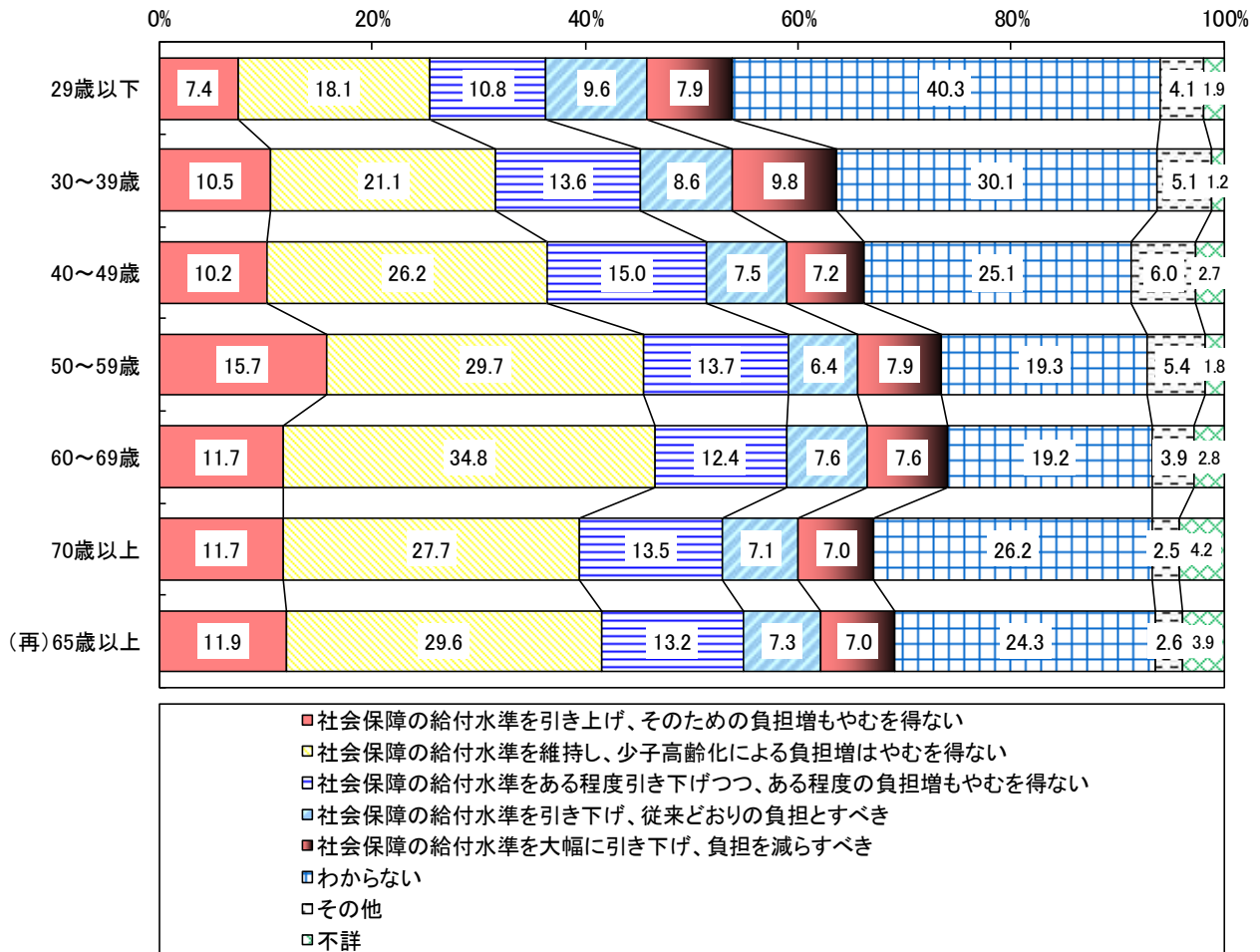
今後の社会保障の給付と負担の水準について、どのようにあるべきだと思うかについては、「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」が27.7%と最も多く、「社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない」が13.4%、「社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない」が11.6%となっている。

図25 今後の社会保障の給付と負担の水準について



年齢階級別にみると、概ね年齢階級が上がるにつれて、「社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない」の割合が多くなっている。

図 2 6 年齢階級別にみた社会保障の給付と負担の水準について

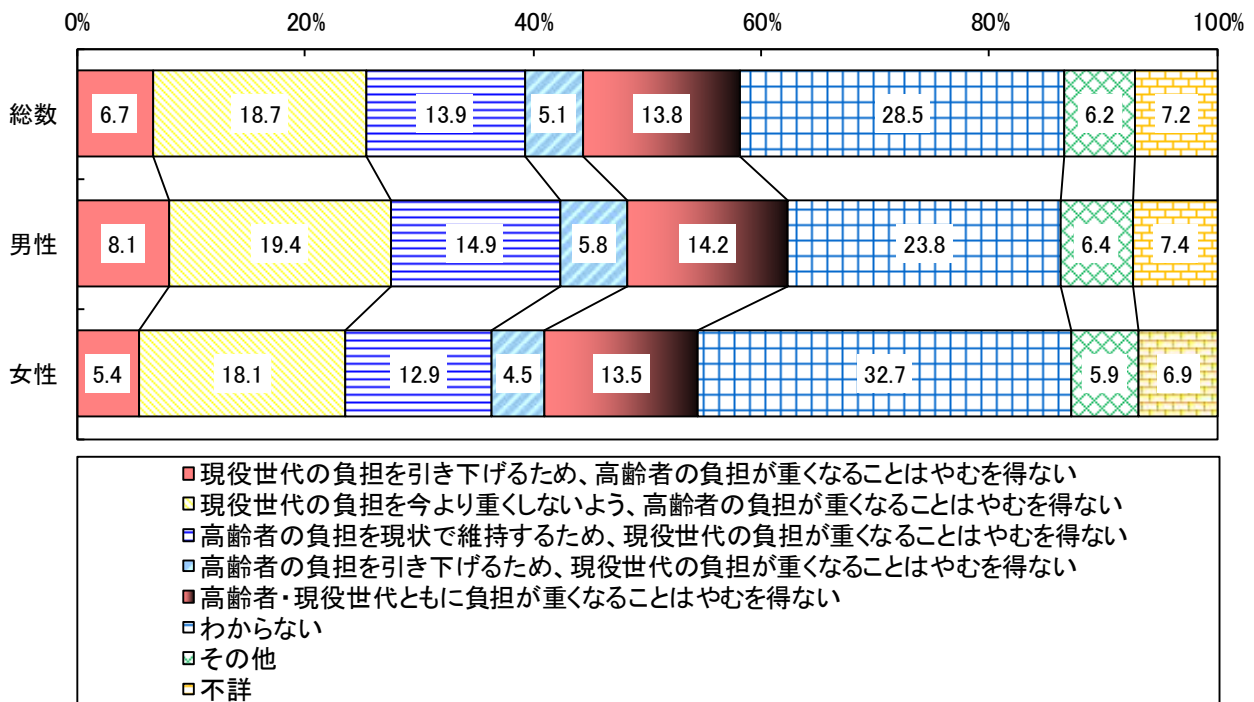


8. 今後の高齢者と現役世代の負担水準について

- ・「現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない」が約2割

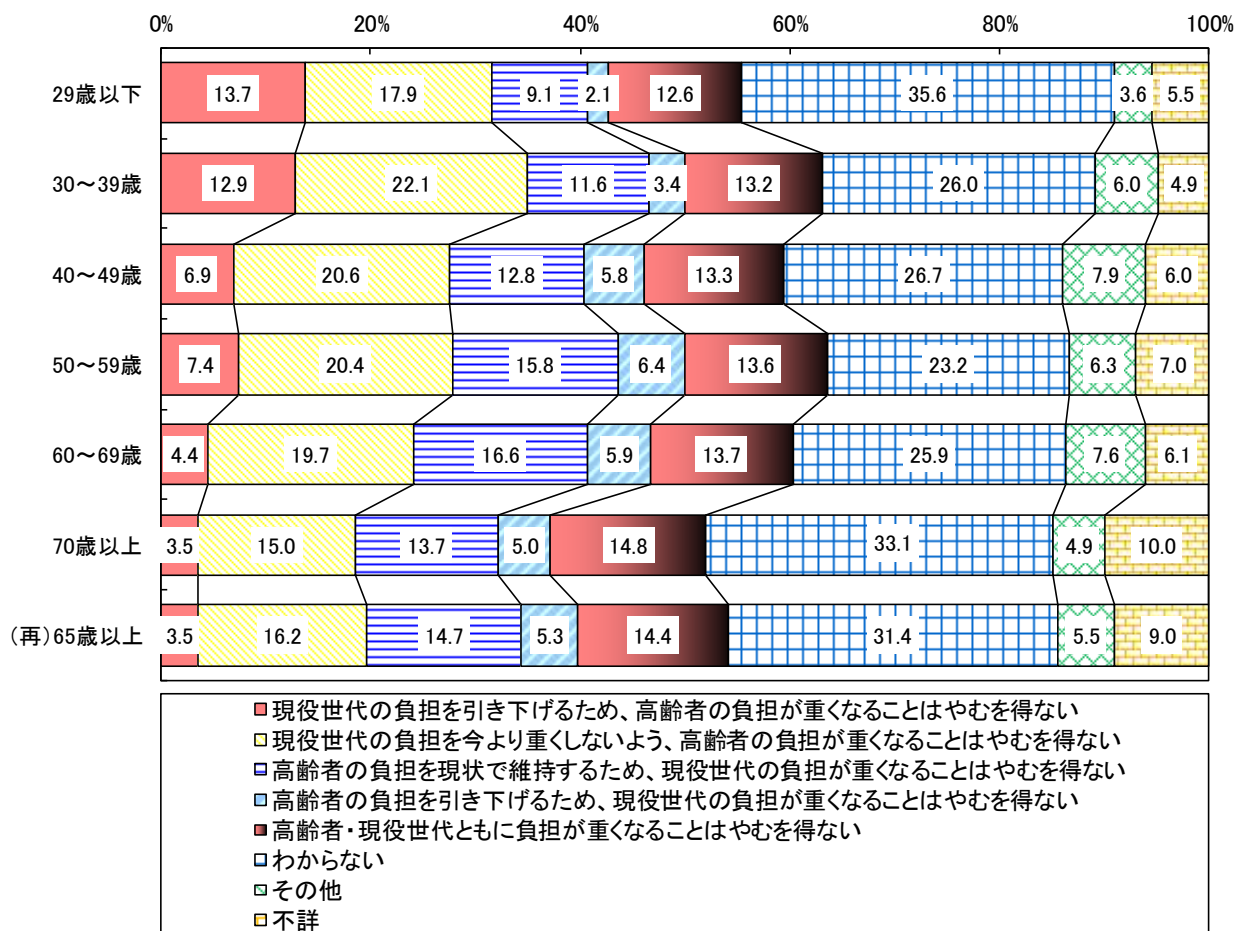
今後の高齢者と現役世代の負担水準はどのようにあるべきだと思うかについては、「現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない」が18.7%、「高齢者の負担を現状で維持するため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない」が13.9%、「高齢者・現役世代ともに負担が重くなることはやむを得ない」が13.8%となっている。

図27 今後の高齢者と現役世代の負担水準について



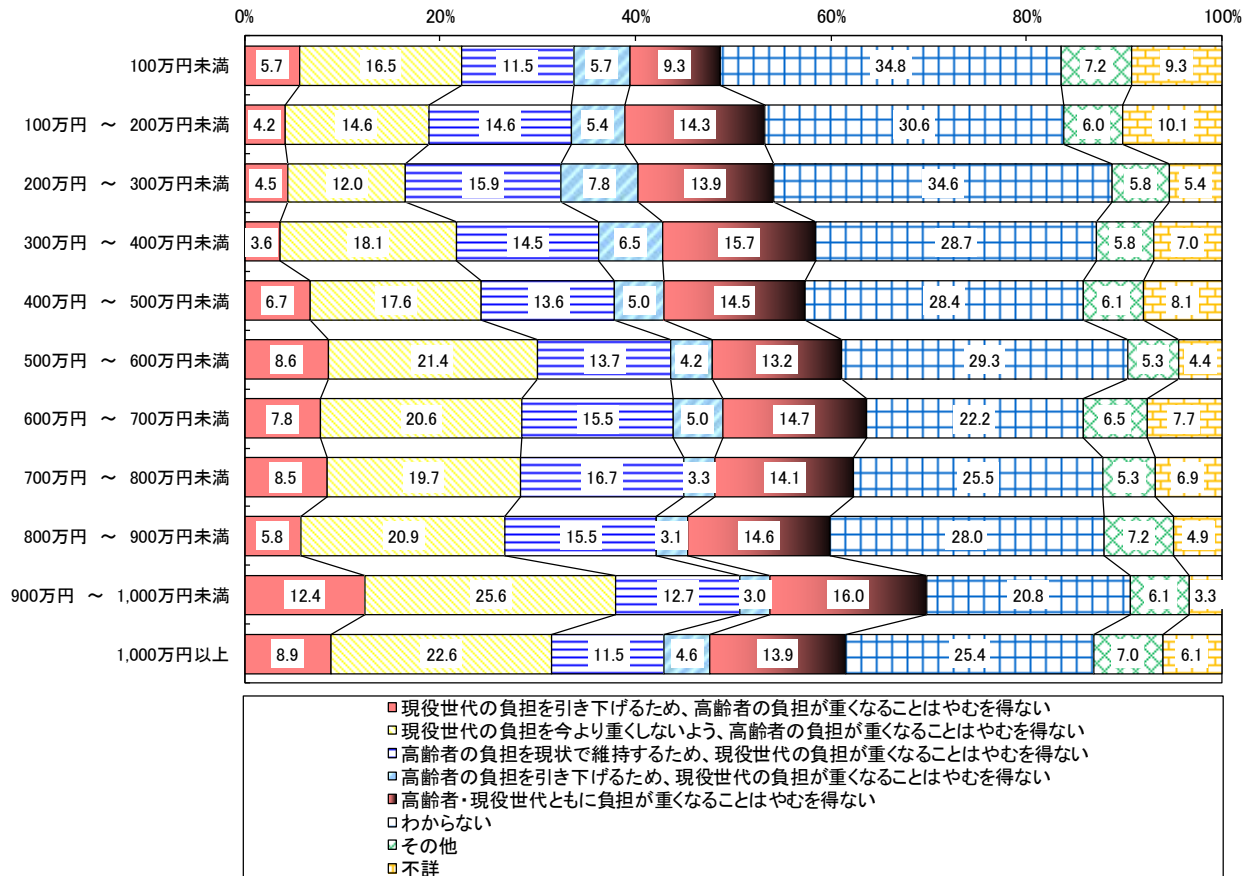
年齢階級別にみると、概ね年齢階級が上がるにつれて、「現役世代の負担を引き下げるため、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない」の割合が少なくなり、「高齢者の負担を現状で維持するため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない」の割合が多くなっている。

図 2 8 年齢階級別にみた今後の高齢者と現役世代の負担水準について



次に、1年間の所得階級別にみると、概ね所得階級が上がるにつれて「現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない」の割合が多くなっている。

図 2 9 所得階級別にみた今後の高齢者と現役世代の負担水準について



注：所得は、世帯の総所得（雇用人所得、事業所得、農耕・畜産所得、財産所得、家内労働所得及び雑収入並びに私的給付（仕送り、企業年金・個人年金等の合計額）の合計額に社会保障による現金給付額を加えたもの）を世帯人員の平方根で除したもの（等価総所得）である。

統計表

第1表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度についてどれくらい関心があるか別

(単位:%)

		総数	積極的にそれらの情報を集めている	それらの情報を見るようにしている	あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある	全く関心がない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	5.4	50.2	36.1	6.5	0.8	1.0
	29歳以下	100.0	2.9	22.4	52.3	21.2	0.3	0.9
	30～39歳	100.0	6.2	40.1	44.2	7.9	1.1	0.5
	40～49歳	100.0	4.3	45.9	42.1	5.8	0.9	0.9
	50～59歳	100.0	4.9	54.3	35.3	3.8	0.8	1.0
	60～69歳	100.0	6.1	59.7	30.4	2.5	0.5	0.7
	70歳以上	100.0	6.1	54.8	30.0	6.8	0.8	1.5
	(再)65歳以上	100.0	6.1	55.8	30.3	5.8	0.7	1.3
【男性】	男性計	100.0	5.8	46.7	38.1	7.6	0.9	1.0
	29歳以下	100.0	3.5	17.9	54.0	24.2	-	0.4
	30～39歳	100.0	6.0	34.6	47.2	10.4	1.2	0.6
	40～49歳	100.0	4.5	37.6	46.3	8.8	1.4	1.4
	50～59歳	100.0	4.5	47.8	40.3	5.3	1.0	1.1
	60～69歳	100.0	7.0	56.3	32.3	3.1	0.6	0.7
	70歳以上	100.0	6.8	57.0	28.2	5.9	0.9	1.2
	(再)65歳以上	100.0	6.6	56.8	29.6	5.4	0.7	1.0
【女性】	女性計	100.0	5.1	53.4	34.3	5.5	0.6	1.0
	29歳以下	100.0	2.3	26.7	50.7	18.3	0.7	1.3
	30～39歳	100.0	6.3	45.1	41.5	5.7	1.0	0.4
	40～49歳	100.0	4.1	53.7	38.2	3.0	0.5	0.5
	50～59歳	100.0	5.2	60.6	30.3	2.2	0.6	1.0
	60～69歳	100.0	5.3	63.0	28.6	1.9	0.5	0.7
	70歳以上	100.0	5.5	53.1	31.4	7.5	0.7	1.8
	(再)65歳以上	100.0	5.6	55.0	31.0	6.2	0.7	1.6

第2表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報の入手方法別(複数回答)

(単位:%)

		総数	行政機関の窓口などで直接聞く	行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物	行政機関のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	新聞	テレビ	書籍	一般のホームページ(SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)	その他の入手方法	その様な情報を入手することはない	不詳
【全体】	総数	100.0	6.7	28.8	12.3	45.8	67.7	3.7	16.0	2.0	4.8	2.8
	29歳以下	100.0	3.9	7.7	15.6	11.6	50.4	2.4	34.0	1.5	15.7	6.5
	30～39歳	100.0	6.5	20.6	22.6	20.4	60.2	3.4	35.3	3.1	6.6	2.4
	40～49歳	100.0	5.5	23.2	19.6	32.7	63.5	2.6	26.2	2.9	5.4	2.4
	50～59歳	100.0	6.4	25.3	16.7	45.3	70.6	4.5	19.5	2.7	2.7	2.6
	60～69歳	100.0	9.3	38.6	10.1	60.0	74.8	6.4	8.5	1.5	1.3	1.5
	70歳以上	100.0	6.4	35.5	2.5	61.8	70.8	2.7	1.5	1.3	4.6	3.2
	(再)65歳以上	100.0	6.8	36.6	3.7	62.1	72.4	3.6	2.8	1.2	3.7	2.9
【男性】	男性計	100.0	6.0	25.1	12.9	48.5	64.2	4.5	18.3	1.9	5.0	2.7
	29歳以下	100.0	2.8	6.7	16.1	15.8	47.0	2.5	36.5	1.4	16.8	6.7
	30～39歳	100.0	5.8	14.3	18.2	25.7	56.5	3.9	36.0	2.9	7.2	2.5
	40～49歳	100.0	4.9	17.7	17.7	34.4	56.9	3.0	27.8	2.2	6.5	3.3
	50～59歳	100.0	5.0	20.5	16.6	44.3	65.7	5.2	22.1	3.4	3.5	2.9
	60～69歳	100.0	8.8	33.5	14.6	62.2	70.3	7.1	12.2	1.0	1.7	1.8
	70歳以上	100.0	6.1	35.3	3.4	67.7	70.9	3.9	2.6	1.1	3.3	1.9
	(再)65歳以上	100.0	6.6	35.5	5.4	67.0	71.4	4.6	4.7	1.0	3.0	1.9
【女性】	女性計	100.0	7.3	32.2	11.7	43.2	70.9	3.0	13.8	2.2	4.6	2.9
	29歳以下	100.0	5.0	8.7	15.0	7.7	53.7	2.3	31.7	1.7	14.7	6.3
	30～39歳	100.0	7.2	26.5	26.7	15.6	63.6	2.9	34.7	3.2	6.1	2.3
	40～49歳	100.0	6.1	28.4	21.4	31.1	69.8	2.1	24.7	3.5	4.2	1.5
	50～59歳	100.0	7.8	30.0	16.8	46.3	75.4	3.8	17.0	2.1	1.9	2.2
	60～69歳	100.0	9.8	43.5	5.7	58.0	79.3	5.6	4.8	1.9	1.0	1.2
	70歳以上	100.0	6.7	35.7	1.8	57.2	70.8	1.8	0.7	1.5	5.5	4.3
	(再)65歳以上	100.0	7.0	37.5	2.3	57.9	73.2	2.8	1.3	1.4	4.4	3.7

第3表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた行政機関からの社会保障制度に関する情報の内容について不満に思うこと別（複数回答）

		(単位:%)							
	総数	専門用語や文字数が多くて内容が理解できない(説明がわかりづらい)	情報が多すぎてどこを見ればいいのかかわからない(説明が必要ない)	得られる情報の量が少ない(概要のみなど、具体的に説明されていない)	最新の情報がどうかかわりづらい(情報が古いことがある)	その他の不満	特に不満はない	不詳	
【全体】	総数	100.0	49.0	46.6	22.4	16.8	2.9	14.0	1.5
	29歳以下	100.0	48.8	53.4	13.4	19.1	3.5	15.8	-
	30～39歳	100.0	51.5	54.5	20.1	20.8	4.5	10.8	1.0
	40～49歳	100.0	53.5	50.1	22.7	17.7	3.4	10.4	0.6
	50～59歳	100.0	51.1	50.2	25.6	20.2	3.0	10.4	0.8
	60～69歳	100.0	51.0	46.1	25.2	16.3	2.2	13.1	1.3
	70歳以上	100.0	42.9	38.7	21.5	12.9	2.3	19.4	2.8
(再)65歳以上	100.0	44.6	40.6	22.7	13.6	2.3	17.9	2.4	
【男性】	男性計	100.0	45.1	45.1	24.0	17.1	3.5	15.0	1.4
	29歳以下	100.0	41.7	47.2	16.1	18.3	3.7	19.7	-
	30～39歳	100.0	47.2	52.5	19.7	20.9	4.8	12.8	1.1
	40～49歳	100.0	46.9	48.3	22.3	18.1	3.7	13.5	0.5
	50～59歳	100.0	45.3	47.3	26.2	19.6	4.5	12.0	1.0
	60～69歳	100.0	48.5	46.8	26.3	16.8	2.8	13.3	1.1
	70歳以上	100.0	41.2	37.2	25.3	13.7	2.7	18.9	2.8
(再)65歳以上	100.0	43.1	39.9	26.2	14.5	2.7	17.4	2.3	
【女性】	女性計	100.0	52.4	48.0	21.0	16.5	2.4	13.1	1.5
	29歳以下	100.0	55.3	59.1	11.0	19.8	3.4	12.2	-
	30～39歳	100.0	55.3	56.3	20.4	20.8	4.2	8.9	0.8
	40～49歳	100.0	59.6	51.7	23.0	17.4	3.1	7.6	0.6
	50～59歳	100.0	56.6	53.0	25.0	20.7	1.7	8.8	0.7
	60～69歳	100.0	53.5	45.4	24.1	15.8	1.7	13.0	1.5
	70歳以上	100.0	44.4	40.0	18.2	12.2	2.0	19.9	2.9
(再)65歳以上	100.0	45.9	41.2	19.7	12.8	1.9	18.2	2.5	

注：集計対象は、社会保障制度に関する情報の入手方法について「その様な情報入手することはない」と回答した者及び「不詳」の者を除く。

第4表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報を入手する方法について不満に思うこと別（複数回答）

		(単位:%)							
	総数	どうやって情報を調べたいのかわからない(インターネットで検索する際のキーワードやどんな書籍を調べればいいのかわからない等)	担当の窓口がどこかわからない	窓口に行くのに手間がかかる	サイトのトップページから必要な情報にたどりつくまでに手間がかかる	その他の不満	特に不満はない	不詳	
【全体】	総数	100.0	39.3	20.5	29.2	16.8	3.3	23.8	2.2
	29歳以下	100.0	44.2	15.6	25.1	21.1	2.9	23.5	0.2
	30～39歳	100.0	39.5	21.2	35.8	28.0	3.1	19.8	0.7
	40～49歳	100.0	37.4	20.5	31.2	22.9	3.0	22.3	1.4
	50～59歳	100.0	41.3	21.4	32.1	25.5	2.7	18.1	1.4
	60～69歳	100.0	41.5	21.6	29.2	13.8	3.5	23.3	1.6
	70歳以上	100.0	36.5	20.0	24.9	5.6	3.7	29.5	4.4
(再)65歳以上	100.0	38.0	20.4	25.7	7.5	3.6	27.9	3.6	
【男性】	男性計	100.0	36.6	20.9	29.2	18.0	3.3	24.7	1.9
	29歳以下	100.0	38.5	14.7	22.5	22.9	2.3	28.0	-
	30～39歳	100.0	36.2	23.6	35.3	27.1	2.5	21.6	0.7
	40～49歳	100.0	34.7	18.8	29.2	21.9	3.4	25.1	1.9
	50～59歳	100.0	36.3	21.0	32.5	26.2	2.9	19.6	1.5
	60～69歳	100.0	38.7	21.3	30.1	17.3	3.4	23.9	1.0
	70歳以上	100.0	35.9	21.7	25.3	6.9	3.9	28.7	3.8
(再)65歳以上	100.0	36.7	21.8	26.1	10.1	3.7	27.4	3.0	
【女性】	女性計	100.0	41.7	20.2	29.3	15.6	3.2	22.9	2.4
	29歳以下	100.0	49.4	16.5	27.4	19.4	3.4	19.4	0.4
	30～39歳	100.0	42.4	18.9	36.2	28.9	3.5	18.3	0.6
	40～49歳	100.0	39.9	22.1	33.0	23.8	2.7	19.6	1.0
	50～59歳	100.0	46.0	21.9	31.6	24.8	2.5	16.7	1.3
	60～69歳	100.0	44.2	21.8	28.3	10.4	3.5	22.8	2.2
	70歳以上	100.0	37.1	18.5	24.6	4.5	3.5	30.1	4.9
(再)65歳以上	100.0	39.3	19.2	25.3	5.3	3.5	28.3	4.2	

注：集計対象は、社会保障制度に関する情報の入手方法について「その様な情報入手することはない」と回答した者及び「不詳」の者を除く。

第5表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた社会保障制度に関する情報について今後どのような方法での情報提供が増えればいいと思うか別（複数回答）

		(単位:%)										
		総数	行政機関の窓口などで直接聞く	行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物	行政機関のホームページ（SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を含む）	新聞	テレビ	書籍	一般のホームページ（SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を含む）	その他の方法	特に情報を得たいとは思わない	不詳
【全体】	総数	100.0	14.2	39.1	23.9	36.1	50.1	3.3	16.6	2.5	7.7	2.4
	29歳以下	100.0	8.0	18.5	33.8	9.6	41.2	2.6	33.3	1.5	16.8	2.1
	30～39歳	100.0	11.0	29.4	38.9	16.2	44.5	2.2	35.1	4.3	7.1	1.6
	40～49歳	100.0	11.8	34.6	39.6	27.0	48.1	3.4	26.4	3.3	6.5	1.9
	50～59歳	100.0	16.7	38.6	34.5	34.1	49.8	3.8	21.3	2.8	5.3	1.5
	60～69歳	100.0	17.9	51.1	18.9	47.1	53.2	4.3	9.4	1.8	4.2	1.9
	70歳以上	100.0	14.4	42.4	5.0	49.0	53.6	2.9	2.3	2.0	10.1	3.7
	(再)65歳以上	100.0	14.6	45.1	7.7	49.5	53.8	3.3	3.9	1.9	8.7	3.4
【男性】	男性計	100.0	13.2	35.2	25.9	37.0	47.1	3.9	18.4	2.5	8.4	2.6
	29歳以下	100.0	7.7	18.2	32.3	12.6	40.0	3.5	33.7	1.4	20.0	2.1
	30～39歳	100.0	10.8	24.2	37.5	18.2	40.8	2.7	36.4	2.9	11.0	1.7
	40～49歳	100.0	9.7	28.5	36.7	26.5	45.5	3.3	27.1	3.5	8.9	2.6
	50～59歳	100.0	14.0	30.8	36.1	33.2	45.7	4.0	23.0	2.9	6.3	1.6
	60～69歳	100.0	18.1	44.7	25.5	45.8	49.0	4.8	12.5	2.0	4.3	2.4
	70歳以上	100.0	13.6	44.0	7.1	53.7	52.3	4.0	3.0	2.3	8.1	4.0
	(再)65歳以上	100.0	14.2	45.4	11.3	53.0	52.1	4.0	5.2	2.1	7.1	3.7
【女性】	女性計	100.0	15.0	42.5	22.1	35.2	52.8	2.8	15.0	2.5	7.1	2.1
	29歳以下	100.0	8.3	18.7	35.3	6.7	42.3	1.7	33.0	1.7	13.7	2.0
	30～39歳	100.0	11.2	34.1	40.2	14.3	48.0	1.7	33.9	5.5	3.6	1.5
	40～49歳	100.0	13.8	40.4	42.3	27.5	50.7	3.5	25.8	3.0	4.1	1.4
	50～59歳	100.0	19.4	46.3	33.0	34.9	53.8	3.7	19.7	2.7	4.3	1.4
	60～69歳	100.0	17.7	57.4	12.5	48.4	57.4	3.8	6.3	1.7	4.1	1.4
	70歳以上	100.0	14.9	41.2	3.3	45.3	54.6	2.1	1.7	1.8	11.6	3.5
	(再)65歳以上	100.0	14.8	44.9	4.6	46.6	55.2	2.6	2.8	1.7	10.0	3.1

第6表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた健康づくりのための取り組み別

		(単位:%)						
		総数	積極的に健康づくりに取り組んでいる	今後、取り組むよう計画している	何かした方がいいと思うが、特に取り組む予定はない	健康づくりをする必要はないと思っている	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	28.9	13.1	36.5	3.2	1.2	17.1
	29歳以下	100.0	19.7	13.7	43.2	9.9	0.5	13.0
	30～39歳	100.0	23.3	15.5	46.9	2.7	0.6	11.0
	40～49歳	100.0	25.3	15.8	41.0	2.9	0.7	14.3
	50～59歳	100.0	27.9	15.8	40.2	1.6	0.4	14.1
	60～69歳	100.0	33.5	12.1	35.2	1.3	1.5	16.3
	70歳以上	100.0	32.8	10.0	27.0	3.9	2.1	24.3
	(再)65歳以上	100.0	33.0	10.5	29.0	3.2	1.8	22.4
【男性】	男性計	100.0	29.0	12.9	34.8	4.2	1.1	17.9
	29歳以下	100.0	22.8	14.4	36.1	12.6	1.1	13.0
	30～39歳	100.0	23.0	15.5	43.3	4.6	0.6	13.0
	40～49歳	100.0	24.7	15.9	37.6	4.6	1.0	16.1
	50～59歳	100.0	28.2	12.4	40.3	2.7	0.5	15.9
	60～69歳	100.0	33.3	11.1	34.8	1.7	1.5	17.6
	70歳以上	100.0	33.1	11.3	25.9	4.4	1.6	23.7
	(再)65歳以上	100.0	33.0	11.1	28.7	3.6	1.4	22.2
【女性】	女性計	100.0	28.9	13.3	38.0	2.2	1.2	16.4
	29歳以下	100.0	16.7	13.0	50.0	7.3	-	13.0
	30～39歳	100.0	23.6	15.4	50.3	1.0	0.6	9.1
	40～49歳	100.0	25.9	15.6	44.2	1.2	0.5	12.6
	50～59歳	100.0	27.6	19.2	40.2	0.5	0.3	12.2
	60～69歳	100.0	33.8	13.1	35.7	1.0	1.4	15.1
	70歳以上	100.0	32.5	8.9	28.0	3.5	2.4	24.7
	(再)65歳以上	100.0	32.9	10.1	29.2	2.9	2.2	22.6

第7表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみただけに取り組んでいるまたはこれから取り組もうと考えている健康づくり別（複数回答）

		(単位:%)									
		総数	週に1回以上の習慣的な運動(ジョギングやトレーニング、散歩など)	食生活の改善(減塩や野菜の摂取など)	節煙または禁煙	イベント等への参加(健康セミナーなど)	血圧や心拍数などの計測器を利用した健康管理	早寝早起きなど規則的な生活	ボランティアなどの社会貢献活動への参加	その他の取り組み	不詳
【全体】	総数	100.0	72.9	66.6	15.3	5.0	28.7	32.8	6.1	3.0	0.3
	29歳以下	100.0	71.3	54.9	21.5	1.0	3.6	27.7	2.1	1.0	-
	30～39歳	100.0	72.1	65.5	13.3	1.3	7.4	31.2	1.8	2.0	-
	40～49歳	100.0	71.3	63.5	14.2	2.5	13.2	28.4	3.2	2.6	0.8
	50～59歳	100.0	72.2	67.8	15.9	2.4	21.4	27.4	4.0	2.7	0.4
	60～69歳	100.0	74.4	70.2	15.6	4.5	39.0	35.1	8.4	3.4	0.4
	70歳以上	100.0	73.7	67.6	14.8	10.3	45.8	37.7	9.3	3.7	-
	(再)65歳以上	100.0	74.4	68.6	15.3	8.5	43.9	36.5	9.3	3.5	0.1
【男性】	男性計	100.0	74.0	61.4	20.8	3.0	29.6	28.8	5.6	2.6	0.3
	29歳以下	100.0	72.6	54.7	24.5	1.9	2.8	23.6	1.9	1.9	-
	30～39歳	100.0	76.3	59.7	14.5	0.5	9.1	22.0	2.2	0.5	-
	40～49歳	100.0	70.2	58.0	16.5	1.6	13.7	21.2	3.1	2.0	0.8
	50～59歳	100.0	73.0	61.5	20.2	1.2	20.6	21.0	3.6	2.8	0.4
	60～69歳	100.0	76.3	61.7	24.8	1.4	40.5	34.4	6.3	1.7	0.6
	70歳以上	100.0	74.3	64.9	21.9	7.1	48.2	36.5	9.6	4.4	-
	(再)65歳以上	100.0	75.5	64.9	23.8	5.6	45.3	36.4	9.1	3.6	0.1
【女性】	女性計	100.0	71.9	71.3	10.3	6.9	28.0	36.4	6.5	3.4	0.2
	29歳以下	100.0	69.7	55.1	18.0	-	4.5	32.6	2.2	-	-
	30～39歳	100.0	68.3	70.7	12.2	2.0	5.9	39.5	1.5	3.4	-
	40～49歳	100.0	72.3	68.6	12.0	3.3	12.8	35.0	3.3	3.3	0.7
	50～59歳	100.0	71.5	73.2	12.2	3.4	22.0	32.9	4.4	2.7	0.3
	60～69歳	100.0	72.6	78.0	7.2	7.4	37.6	35.8	10.2	5.1	0.3
	70歳以上	100.0	73.2	69.8	8.7	13.0	43.7	38.7	9.1	3.2	-
	(再)65歳以上	100.0	73.5	71.8	7.9	10.9	42.7	36.7	9.5	3.5	0.1

注:集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「積極的に健康づくりに取り組んでいる」又は「今後、取り組むよう計画している」と回答した者。

第8表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみただけのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思うか別（複数回答）

		(単位:%)							不詳	
		総数	医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果	家族や友人からの勧め	家族や友人と一緒にできること	興味のあるイベント	何らかの特典を受けられること	その他のきっかけ	何があっても健康づくりをするつもりはない	
【全体】	総数	100.0	57.0	14.2	24.4	25.5	11.9	5.2	6.1	1.4
	29歳以下	100.0	54.0	9.3	25.7	34.1	15.1	3.2	4.8	2.3
	30～39歳	100.0	57.4	11.6	26.6	29.2	19.2	7.0	4.8	1.0
	40～49歳	100.0	57.3	13.5	25.4	27.3	17.9	6.6	4.6	1.2
	50～59歳	100.0	56.2	13.6	26.6	33.1	13.8	5.5	4.6	0.6
	60～69歳	100.0	60.4	15.7	23.3	24.7	6.6	5.6	4.3	1.8
	70歳以上	100.0	55.4	17.8	21.0	13.5	4.2	3.3	11.3	1.9
	(再)65歳以上	100.0	56.4	17.5	20.9	16.1	5.0	3.7	9.6	2.1
【男性】	男性計	100.0	58.5	13.8	19.2	23.5	11.5	4.9	7.7	1.7
	29歳以下	100.0	54.0	7.2	23.7	29.5	11.5	4.3	4.3	3.6
	30～39歳	100.0	57.1	10.4	22.5	26.0	16.5	6.9	8.7	1.3
	40～49歳	100.0	55.8	15.8	17.4	20.8	15.8	6.8	7.5	1.5
	50～59歳	100.0	53.9	12.4	20.2	34.1	14.2	4.1	7.1	0.4
	60～69歳	100.0	63.8	15.4	16.1	23.8	8.7	4.4	5.7	2.3
	70歳以上	100.0	62.6	16.9	18.4	12.6	4.6	3.4	11.0	1.8
	(再)65歳以上	100.0	62.7	15.6	16.6	15.4	6.3	3.2	9.9	2.2
【女性】	女性計	100.0	55.6	14.6	29.0	27.2	12.3	5.5	4.7	1.2
	29歳以下	100.0	54.1	11.0	27.3	37.8	18.0	2.3	5.2	1.2
	30～39歳	100.0	57.6	12.6	30.1	32.0	21.6	7.1	1.5	0.7
	40～49歳	100.0	58.5	11.4	32.4	33.1	19.7	6.4	2.0	1.0
	50～59歳	100.0	58.6	14.8	33.2	32.0	13.3	7.0	2.0	0.8
	60～69歳	100.0	57.2	16.0	30.4	25.5	4.6	6.9	2.9	1.3
	70歳以上	100.0	50.0	18.5	22.9	14.3	4.0	3.3	11.4	1.9
	(再)65歳以上	100.0	51.0	19.1	24.6	16.7	4.0	4.1	9.3	2.1

注:集計対象は、健康づくりのための取り組みについて「何かした方がいいと思うが、特に取り組む予定はない」又は「健康づくりをする必要はない」と回答した者。

第9表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後に介護施設や保育施設で比較的労力を要しない作業に参加することについて別

		総数	既に参加している	無償でもいいので参加したい	地域で利用できるポイント制度などの特典があれば参加したい	継続的に作業に参加することで、介護施設等を優先的に利用できるのであれば参加したい	交通費が支払われるのであれば参加したい	報酬が支払われるのであれば参加したい	その他の参加条件	参加したいとは思わない	不詳
【全体】	総数	100.0	3.2	7.5	8.1	13.4	4.5	16.6	2.7	38.1	5.8
	29歳以下	100.0	2.2	5.8	8.2	6.7	4.4	29.6	1.7	36.9	4.4
	30～39歳	100.0	1.2	4.6	10.4	11.8	4.6	29.1	2.7	29.6	6.2
	40～49歳	100.0	1.7	5.3	9.6	13.1	5.9	26.0	2.8	29.2	6.4
	50～59歳	100.0	1.4	8.1	8.6	18.3	5.8	20.5	2.5	29.9	5.0
	60～69歳	100.0	3.9	9.2	8.5	14.7	5.4	11.9	2.2	39.0	5.3
	70歳以上	100.0	5.6	8.8	5.8	12.3	2.6	4.6	3.5	50.3	6.5
	(再)65歳以上	100.0	5.3	8.9	6.6	12.8	3.0	5.8	3.1	48.4	6.2
【男性】	男性計	100.0	2.4	6.5	7.3	12.6	4.0	18.3	2.6	40.8	5.6
	29歳以下	100.0	2.1	5.6	7.4	4.2	3.5	28.8	2.1	41.1	5.3
	30～39歳	100.0	0.6	3.3	8.3	11.4	3.7	29.2	1.9	35.8	5.8
	40～49歳	100.0	1.4	4.5	8.0	11.6	4.3	26.3	3.0	34.9	5.9
	50～59歳	100.0	0.5	7.9	7.7	16.3	5.8	22.1	2.1	32.7	5.0
	60～69歳	100.0	1.8	6.7	8.0	13.8	4.8	14.8	2.0	43.0	5.1
	70歳以上	100.0	5.5	8.3	5.8	12.9	2.3	6.3	3.5	49.4	6.0
	(再)65歳以上	100.0	4.5	7.9	6.5	12.6	2.6	8.1	3.0	49.2	5.6
【女性】	女性計	100.0	4.0	8.4	8.8	14.1	5.1	15.1	2.9	35.7	6.0
	29歳以下	100.0	2.3	6.0	9.0	9.0	5.3	30.3	1.3	33.0	3.7
	30～39歳	100.0	1.7	5.7	12.4	12.2	5.3	29.0	3.4	23.8	6.5
	40～49歳	100.0	2.0	6.1	11.1	14.6	7.4	25.8	2.6	23.7	6.8
	50～59歳	100.0	2.4	8.3	9.4	20.3	5.7	18.9	2.9	27.1	5.1
	60～69歳	100.0	6.0	11.6	9.0	15.6	6.0	9.0	2.4	35.1	5.4
	70歳以上	100.0	5.7	9.3	5.7	11.8	2.9	3.2	3.5	51.0	6.8
	(再)65歳以上	100.0	6.0	9.7	6.6	12.9	3.4	3.9	3.1	47.7	6.6

第10表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた将来どのようなことを最も不安に感じているか別

		総数	公的年金が老後生活に十分であるかどうか	あなたやあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまわないか	高齢者向けの就労の場が十分に確保されないか	リストラ等により解雇されるのではないか	給与や諸手当が減額されないか	企業年金や退職金が減額、廃止されないか	子育てや子どもの教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないか	その他の不安	特に不安はない	不詳
【全体】	総数	100.0	53.1	17.5	2.7	0.6	1.9	2.4	4.0	3.2	8.0	6.6
	29歳以下	100.0	36.9	16.6	1.0	1.5	8.0	5.1	9.9	3.2	10.9	6.7
	30～39歳	100.0	43.5	17.3	1.0	1.3	3.6	2.7	12.7	2.9	5.2	10.0
	40～49歳	100.0	48.5	19.0	2.1	1.5	2.8	3.7	8.0	1.9	4.7	7.8
	50～59歳	100.0	56.6	20.1	3.4	0.4	2.1	2.8	1.4	2.4	3.4	7.4
	60～69歳	100.0	63.0	17.4	4.1	0.1	0.5	1.3	0.5	2.8	5.4	4.8
	70歳以上	100.0	54.8	15.8	2.7	0.1	0.2	1.5	0.6	4.6	14.2	5.5
	(再)65歳以上	100.0	56.9	16.4	3.2	0.1	0.2	1.5	0.7	4.0	12.0	5.1
【男性】	男性計	100.0	52.5	16.5	3.2	1.0	2.5	2.9	3.0	3.2	8.4	6.8
	29歳以下	100.0	34.4	16.1	1.1	1.8	10.9	5.3	4.9	3.9	14.0	7.7
	30～39歳	100.0	42.2	15.9	1.0	2.3	4.3	2.9	9.5	4.1	7.5	10.1
	40～49歳	100.0	46.4	17.1	3.2	2.7	3.8	4.8	5.7	2.1	6.5	7.7
	50～59歳	100.0	56.7	16.9	4.3	0.8	2.3	3.2	1.9	2.4	4.2	7.2
	60～69歳	100.0	61.3	16.8	5.0	0.1	0.6	1.3	0.5	2.4	6.4	5.5
	70歳以上	100.0	56.2	16.2	2.9	0.1	0.1	2.0	0.4	4.3	12.5	5.3
	(再)65歳以上	100.0	57.6	16.7	3.7	0.1	0.1	1.8	0.5	3.5	11.1	5.0
【女性】	女性計	100.0	53.6	18.4	2.2	0.2	1.5	2.0	5.0	3.1	7.5	6.5
	29歳以下	100.0	39.3	17.0	1.0	1.3	5.3	5.0	14.7	2.7	8.0	5.7
	30～39歳	100.0	44.6	18.5	1.0	0.4	2.9	2.5	15.6	1.7	3.0	9.9
	40～49歳	100.0	50.5	20.8	1.1	0.3	1.8	2.7	10.2	1.7	3.0	7.9
	50～59歳	100.0	56.5	23.3	2.5	-	1.9	2.4	1.0	2.4	2.5	7.5
	60～69歳	100.0	64.7	18.1	3.2	-	0.4	1.3	0.6	3.1	4.6	4.1
	70歳以上	100.0	53.6	15.4	2.6	0.1	0.4	1.1	0.8	4.8	15.5	5.7
	(再)65歳以上	100.0	56.3	16.2	2.8	0.1	0.3	1.2	0.8	4.4	12.9	5.1

第11表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするもの別

(単位:%)

		総数	自分または配偶者の就労による収入	公的年金(国民年金や厚生年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	26.2	55.9	1.7	7.9	0.7	1.0	0.6	2.0	1.3	2.7
	29歳以下	100.0	46.8	24.3	4.4	13.7	2.1	-	0.7	3.6	1.7	2.7
	30~39歳	100.0	47.0	31.0	2.3	12.4	0.6	0.5	0.1	3.1	1.7	1.4
	40~49歳	100.0	40.4	35.9	3.5	12.8	1.2	0.6	0.5	2.0	1.3	1.7
	50~59歳	100.0	33.7	49.2	2.5	8.3	0.8	0.6	0.4	1.9	0.6	1.9
	60~69歳	100.0	19.7	67.6	0.6	5.0	0.2	0.7	0.9	1.3	1.0	2.9
	70歳以上	100.0	5.7	79.9	0.3	3.9	0.3	2.1	0.7	1.8	1.4	3.9
	(再)65歳以上	100.0	8.5	77.9	0.4	4.1	0.3	1.7	0.7	1.6	1.3	3.6
【男性】	男性計	100.0	26.2	55.0	2.6	7.5	0.8	0.5	0.7	2.1	1.6	3.0
	29歳以下	100.0	45.6	23.5	5.6	12.6	2.5	-	1.4	3.5	2.5	2.8
	30~39歳	100.0	44.1	31.9	3.1	11.6	0.8	0.4	0.2	3.9	2.1	1.9
	40~49歳	100.0	41.8	32.7	5.7	11.2	1.9	0.5	0.5	1.9	1.1	2.7
	50~59歳	100.0	31.6	49.4	3.5	8.9	0.5	0.6	0.6	2.3	0.6	1.9
	60~69歳	100.0	19.7	66.1	1.0	4.8	0.5	0.5	1.1	1.5	1.3	3.5
	70歳以上	100.0	5.9	81.4	0.3	3.6	0.2	0.6	0.6	1.4	2.0	4.0
	(再)65歳以上	100.0	8.7	78.7	0.6	3.9	0.3	0.5	0.7	1.2	1.7	3.9
【女性】	女性計	100.0	26.2	56.8	1.0	8.3	0.5	1.5	0.5	2.0	1.0	2.3
	29歳以下	100.0	48.0	25.0	3.3	14.7	1.7	-	-	3.7	1.0	2.7
	30~39歳	100.0	49.7	30.1	1.5	13.1	0.4	0.6	-	2.3	1.3	1.0
	40~49歳	100.0	39.2	39.0	1.4	14.3	0.5	0.8	0.6	2.1	1.5	0.8
	50~59歳	100.0	35.9	49.0	1.4	7.8	1.1	0.6	0.2	1.6	0.5	1.9
	60~69歳	100.0	19.8	69.1	0.2	5.3	-	0.8	0.7	1.1	0.7	2.3
	70歳以上	100.0	5.6	78.7	0.3	4.1	0.4	3.2	0.8	2.1	1.0	3.8
	(再)65歳以上	100.0	8.4	77.3	0.2	4.2	0.3	2.7	0.7	1.9	0.9	3.3

第12表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた老後の生計を支える手段として2番目に頼りにするもの別

(単位:%)

		総数	自分または配偶者の就労による収入	公的年金(国民年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	13.1	21.4	3.9	27.8	1.9	4.8	1.2	4.5	2.3	19.2
	29歳以下	100.0	9.6	33.5	5.5	25.0	4.1	1.4	1.4	5.6	1.2	12.8
	30~39歳	100.0	15.6	31.3	4.8	26.7	3.1	0.8	0.9	5.2	2.2	9.5
	40~49歳	100.0	18.2	30.6	5.8	21.4	2.5	1.7	0.5	6.1	1.6	11.6
	50~59歳	100.0	17.6	27.9	4.0	26.1	3.0	2.2	0.6	5.4	2.4	10.6
	60~69歳	100.0	14.6	19.3	3.1	32.6	0.8	3.9	1.6	4.1	2.1	18.1
	70歳以上	100.0	6.8	7.6	2.5	29.8	0.7	11.0	1.8	2.9	3.2	33.8
	(再)65歳以上	100.0	8.7	9.6	2.8	31.0	0.6	9.1	1.9	3.1	3.1	30.1
【男性】	男性計	100.0	13.1	20.6	5.6	27.4	2.1	3.6	1.4	4.7	2.3	19.2
	29歳以下	100.0	9.8	29.8	7.4	22.5	4.6	1.1	1.8	6.7	1.1	15.4
	30~39歳	100.0	15.1	26.7	6.0	27.7	4.6	0.4	1.0	5.2	1.9	11.4
	40~49歳	100.0	14.2	31.9	7.3	21.9	2.4	1.6	0.6	6.7	1.0	12.4
	50~59歳	100.0	18.0	27.2	5.6	25.9	3.2	1.6	0.6	4.7	2.7	10.3
	60~69歳	100.0	15.2	18.7	4.9	31.1	0.9	3.1	2.0	4.5	1.8	17.9
	70歳以上	100.0	8.1	6.6	4.5	30.0	0.4	8.4	1.9	3.1	3.5	33.6
	(再)65歳以上	100.0	10.2	8.7	4.8	30.7	0.3	6.9	2.2	3.3	3.3	29.6
【女性】	女性計	100.0	13.0	22.1	2.3	28.1	1.7	6.0	1.1	4.3	2.4	19.2
	29歳以下	100.0	9.3	37.0	3.7	27.3	3.7	1.7	1.0	4.7	1.3	10.3
	30~39歳	100.0	16.0	35.6	3.6	25.7	1.7	1.1	0.8	5.1	2.5	7.8
	40~49歳	100.0	22.0	29.3	4.4	20.9	2.6	1.8	0.5	5.6	2.1	10.8
	50~59歳	100.0	17.1	28.6	2.4	26.3	2.9	2.9	0.6	6.2	2.1	11.0
	60~69歳	100.0	14.0	19.9	1.3	34.0	0.7	4.7	1.2	3.6	2.3	18.3
	70歳以上	100.0	5.7	8.5	0.9	29.7	0.9	13.0	1.7	2.7	2.9	34.0
	(再)65歳以上	100.0	7.4	10.5	1.1	31.2	0.9	10.9	1.7	2.9	2.9	30.6

第13表 老後の生計を支える手段として1番目に頼りにするものと2番目に頼りにするものの組合せ

(単位:%)

	総数	1番目に頼りにするもの										
		自分または配偶者の就労による収入	公的年金(国民年金や厚生年金など)	勤務先の企業年金	貯蓄または退職金の取り崩し	親など親族からの相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀行の利子などの資産収入	個人年金	その他	不詳	
2番目に頼りにするもの	総数	100.0	26.2	55.9	1.7	7.9	0.7	1.0	0.6	2.0	1.3	2.7
	自分または配偶者の就労による収入	13.1	-	10.8	0.3	1.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	-
	公的年金(国民年金や厚生年金など)	21.4	14.9	-	0.6	4.3	0.2	0.4	0.2	0.7	0.1	-
	勤務先の企業年金	3.9	0.8	2.5	-	0.5	0.0	-	0.0	0.0	-	-
	貯蓄または退職金の取り崩し	27.8	5.1	21.3	0.6	-	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	-
	親など親族からの相続	1.9	0.8	0.8	0.0	0.1	-	0.1	0.0	0.0	0.0	-
	子どもなど親族からの援助や仕送り	4.8	0.4	4.0	0.0	0.2	0.0	-	0.1	0.1	0.0	-
	家賃や銀行の利子などの資産収入	1.2	0.2	0.8	0.0	0.1	0.0	-	-	0.1	0.0	-
	個人年金	4.5	0.9	2.6	0.1	0.6	0.1	0.1	0.1	-	0.0	-
	その他	2.3	0.4	1.6	0.0	0.2	-	0.0	-	0.0	-	-
	不詳	19.2	2.6	11.6	0.1	0.5	0.1	0.2	0.0	0.4	1.0	2.7

第14表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた国民生活に役立っていると考える社会保障の分野別(3つまで回答)

(単位:%)

	総数	老後の所得保障(年金)	老人医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳	
【全体】	総数	100.0	61.0	44.1	24.7	48.2	10.9	7.8	8.0	5.9	1.7	4.0
	29歳以下	100.0	30.9	21.5	32.0	50.6	12.5	8.4	10.6	10.4	2.9	4.4
	30~39歳	100.0	37.8	23.4	52.7	52.8	8.6	7.9	6.9	8.9	2.1	3.0
	40~49歳	100.0	45.2	30.6	41.7	49.8	7.4	8.9	6.9	7.5	3.3	3.6
	50~59歳	100.0	59.9	44.7	24.3	48.0	8.6	7.8	9.4	9.0	1.6	3.8
	60~69歳	100.0	76.3	53.3	16.9	50.0	11.4	8.5	8.4	4.7	0.7	3.8
	70歳以上	100.0	76.4	58.5	8.0	43.9	14.1	6.6	7.3	1.8	1.0	4.6
	(再)65歳以上	100.0	77.5	57.5	10.1	45.5	13.4	7.2	7.7	2.2	0.9	4.4
【男性】	男性計	100.0	61.2	42.7	22.6	48.3	11.6	7.8	8.9	6.4	1.8	4.1
	29歳以下	100.0	30.2	18.6	27.4	44.9	14.4	9.8	11.9	12.3	2.8	6.0
	30~39歳	100.0	37.3	24.6	48.4	52.2	10.1	8.3	7.7	9.1	1.9	3.3
	40~49歳	100.0	45.6	30.1	38.8	50.2	7.8	7.8	7.7	7.8	4.0	3.8
	50~59歳	100.0	60.1	42.2	21.1	47.8	7.4	7.2	9.8	9.2	2.4	3.7
	60~69歳	100.0	77.1	51.7	14.0	51.2	11.6	8.6	9.8	5.1	0.5	4.4
	70歳以上	100.0	77.7	57.9	7.9	44.5	16.2	6.7	8.3	2.0	1.0	4.3
	(再)65歳以上	100.0	78.9	56.8	9.4	45.9	15.1	7.4	8.7	2.6	0.9	4.3
【女性】	女性計	100.0	60.8	45.3	26.6	48.2	10.2	7.8	7.1	5.5	1.5	3.8
	29歳以下	100.0	31.7	24.3	36.3	56.0	10.7	7.0	9.3	8.7	3.0	3.0
	30~39歳	100.0	38.3	22.3	56.6	53.3	7.2	7.6	6.3	8.8	2.3	2.7
	40~49歳	100.0	44.8	31.1	44.5	49.3	7.0	9.9	6.2	7.3	2.6	3.3
	50~59歳	100.0	59.7	47.1	27.5	48.3	9.7	8.3	8.9	8.9	0.8	3.8
	60~69歳	100.0	75.4	55.0	19.9	48.9	11.3	8.5	7.1	4.3	0.8	3.2
	70歳以上	100.0	75.3	59.0	8.1	43.4	12.4	6.5	6.6	1.7	1.0	4.9
	(再)65歳以上	100.0	76.3	58.1	10.7	45.2	12.0	7.0	6.8	1.9	0.9	4.6

第15表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後充実させる必要があると考える社会保障の分野別（3つまで回答）

(単位:%)

		総数	老後の所得保障(年金)	老人医療や介護	子ども・子育て支援	医療保険・医療供給体制など	健康の保持・促進	障害者福祉	生活保護	雇用の確保や失業対策	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	67.1	50.1	29.4	37.4	13.7	7.7	5.3	13.1	0.9	4.2
	29歳以下	100.0	51.3	28.9	49.2	30.9	12.3	5.3	5.5	19.8	1.7	4.6
	30～39歳	100.0	61.0	33.7	54.7	33.2	11.7	8.0	3.5	16.8	1.5	2.8
	40～49歳	100.0	66.3	44.2	35.5	35.2	9.7	8.6	3.2	17.9	1.0	2.8
	50～59歳	100.0	71.5	53.4	28.8	36.1	12.4	7.8	5.4	16.1	0.5	2.9
	60～69歳	100.0	71.7	57.5	25.3	43.0	14.9	8.4	5.4	12.5	0.5	3.3
	70歳以上	100.0	68.4	58.3	14.2	38.8	16.9	7.1	6.9	6.1	0.8	6.8
	(再)65歳以上	100.0	69.7	59.0	16.5	40.3	16.5	7.6	6.6	7.3	0.7	5.9
【男性】	男性計	100.0	64.6	46.5	28.6	36.5	14.8	7.9	6.3	13.0	0.9	4.7
	29歳以下	100.0	43.2	24.6	46.0	28.4	14.4	6.0	6.7	20.0	2.1	6.0
	30～39歳	100.0	57.3	28.8	50.9	31.1	14.5	7.7	3.7	16.8	1.2	3.1
	40～49歳	100.0	61.4	41.0	37.6	31.9	11.0	8.3	3.7	16.7	1.4	4.0
	50～59歳	100.0	69.1	47.8	27.5	34.9	11.3	8.2	6.4	16.3	0.8	3.1
	60～69歳	100.0	70.6	54.6	23.3	41.9	16.0	8.9	5.9	11.9	0.7	4.3
	70歳以上	100.0	68.3	56.6	13.5	40.4	18.4	7.3	9.1	6.1	0.5	6.9
	(再)65歳以上	100.0	69.8	57.2	15.9	40.7	17.7	7.8	8.1	7.4	0.6	6.0
【女性】	女性計	100.0	69.3	53.3	30.2	38.3	12.7	7.5	4.4	13.1	0.8	3.7
	29歳以下	100.0	59.0	33.0	52.3	33.3	10.3	4.7	4.3	19.7	1.3	3.3
	30～39歳	100.0	64.4	38.3	58.1	35.2	9.1	8.4	3.2	16.8	1.7	2.5
	40～49歳	100.0	70.9	47.3	33.5	38.4	8.5	9.0	2.7	19.0	0.6	1.7
	50～59歳	100.0	73.8	58.9	30.0	37.1	13.5	7.5	4.4	16.0	0.2	2.7
	60～69歳	100.0	72.8	60.4	27.3	44.1	13.8	7.9	5.0	13.2	0.4	2.3
	70歳以上	100.0	68.6	59.7	14.8	37.5	15.7	6.9	5.2	6.1	1.0	6.7
	(再)65歳以上	100.0	69.5	60.5	17.0	39.9	15.4	7.3	5.4	7.1	0.9	5.7

第16表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた税と社会保険料の負担水準についてどのように思うか別

(単位:%)

		総数	生活が苦しくなるほど重い	生活にはあまり影響しないが負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	38.4	50.4	7.4	1.4	2.3
	29歳以下	100.0	32.0	50.6	14.4	1.2	1.9
	30～39歳	100.0	38.6	53.4	4.6	2.5	1.0
	40～49歳	100.0	38.3	54.3	5.1	0.9	1.3
	50～59歳	100.0	37.9	53.2	6.5	1.0	1.4
	60～69歳	100.0	41.4	51.2	4.2	1.3	1.9
	70歳以上	100.0	38.2	45.3	10.9	1.6	4.1
	(再)65歳以上	100.0	39.0	47.0	9.0	1.5	3.6
【男性】	男性計	100.0	38.1	50.8	7.1	1.6	2.4
	29歳以下	100.0	32.6	49.1	14.0	1.8	2.5
	30～39歳	100.0	36.4	54.5	5.8	2.3	1.0
	40～49歳	100.0	37.5	53.6	6.1	1.1	1.8
	50～59歳	100.0	37.0	52.8	7.1	1.3	1.8
	60～69歳	100.0	41.9	48.7	5.0	1.8	2.6
	70歳以上	100.0	38.6	48.5	7.9	1.6	3.4
	(再)65歳以上	100.0	39.3	49.3	6.8	1.4	3.2
【女性】	女性計	100.0	38.6	50.1	7.8	1.3	2.2
	29歳以下	100.0	31.3	52.0	14.7	0.7	1.3
	30～39歳	100.0	40.6	52.4	3.4	2.7	1.0
	40～49歳	100.0	39.2	54.9	4.2	0.8	0.9
	50～59歳	100.0	38.7	53.5	5.9	0.8	1.1
	60～69歳	100.0	41.0	53.5	3.4	0.8	1.3
	70歳以上	100.0	37.8	42.7	13.2	1.7	4.6
	(再)65歳以上	100.0	38.7	45.0	10.9	1.5	3.9

第17表 世帯員数の構成割合、性・所得階級別にみた税と社会保険料の負担水準についてどのように思うか別

		(単位:%)					
		総数	生活が苦しくなるほど重い	生活にはあまり影響しないが負担感がある	特に負担感はない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	38.4	50.4	7.4	1.4	2.3
	100万円未満	100.0	44.8	35.1	10.4	5.7	3.9
	100万円～200万円未満	100.0	45.5	37.8	10.5	2.2	4.0
	200万円～300万円未満	100.0	45.5	43.8	7.3	1.4	1.9
	300万円～400万円未満	100.0	41.0	50.5	5.9	0.8	1.8
	400万円～500万円未満	100.0	39.3	53.1	3.3	1.9	2.4
	500万円～600万円未満	100.0	41.0	52.2	5.7	0.5	0.5
	600万円～700万円未満	100.0	36.3	55.8	5.8	1.6	0.6
	700万円～800万円未満	100.0	33.3	57.6	7.0	1.1	1.1
	800万円～900万円未満	100.0	34.3	57.6	6.3	0.7	1.1
	900万円～1,000万円未満	100.0	33.0	58.1	6.9	1.0	1.0
	1,000万円以上	100.0	27.9	57.3	12.1	1.2	1.5
不詳	100.0	43.3	40.0	6.5	1.8	8.3	
【男性】	男性計	100.0	38.1	50.8	7.1	1.6	2.4
	100万円未満	100.0	40.0	39.0	7.6	7.6	5.7
	100万円～200万円未満	100.0	47.0	37.3	10.8	1.5	3.4
	200万円～300万円未満	100.0	42.9	48.4	5.2	2.0	1.5
	300万円～400万円未満	100.0	40.6	49.0	7.3	1.1	1.9
	400万円～500万円未満	100.0	42.5	50.1	3.0	1.5	2.8
	500万円～600万円未満	100.0	39.5	54.6	4.8	0.8	0.3
	600万円～700万円未満	100.0	36.1	55.7	5.4	2.2	0.6
	700万円～800万円未満	100.0	33.2	57.8	6.9	1.1	1.1
	800万円～900万円未満	100.0	33.0	58.1	7.9	-	0.9
	900万円～1,000万円未満	100.0	35.1	55.9	6.9	1.6	0.5
	1,000万円以上	100.0	28.5	57.4	10.9	1.5	1.7
不詳	100.0	43.9	35.8	7.1	2.4	10.8	
【女性】	女性計	100.0	38.6	50.1	7.8	1.3	2.2
	100万円未満	100.0	47.7	32.8	12.1	4.6	2.9
	100万円～200万円未満	100.0	44.6	38.1	10.4	2.7	4.3
	200万円～300万円未満	100.0	47.8	39.9	9.1	0.8	2.3
	300万円～400万円未満	100.0	41.4	52.1	4.5	0.4	1.6
	400万円～500万円未満	100.0	36.3	56.0	3.6	2.2	1.9
	500万円～600万円未満	100.0	42.4	49.9	6.6	0.3	0.8
	600万円～700万円未満	100.0	36.5	55.8	6.1	1.0	0.6
	700万円～800万円未満	100.0	33.3	57.4	7.2	1.0	1.0
	800万円～900万円未満	100.0	35.6	57.1	4.6	1.4	1.4
	900万円～1,000万円未満	100.0	31.1	60.2	6.8	0.5	1.5
	1,000万円以上	100.0	27.4	57.3	13.1	1.0	1.3
不詳	100.0	42.8	43.4	6.1	1.3	6.4	

注：所得は、世帯の総所得（雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、財産所得、家内労働所得及び雑収入並びに私的給付（送り、企業年金・個人年金等の合計額）の合計額に社会保障による現金給付額を加えたもの）を世帯人員の平方根で除したもの（等価総所得）である。

第18表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源として税と社会保険料のどちらを中心にしていくべきだと思うか別

		(単位:%)							
		総数	税金でまかなうべき	どちらかといえば税金でまかなうべき	どちらかといえば社会保険料でまかなうべき	社会保険料でまかなうべき	どちらでもいい	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	23.0	33.4	14.4	5.0	17.6	4.0	2.6
	29歳以下	100.0	19.5	24.1	12.6	4.4	33.7	4.3	1.4
	30～39歳	100.0	20.1	25.6	15.0	5.3	26.2	6.7	1.1
	40～49歳	100.0	21.1	29.9	15.9	5.1	20.7	5.0	2.4
	50～59歳	100.0	24.1	34.7	16.0	5.7	13.3	4.3	2.0
	60～69歳	100.0	24.9	38.6	15.9	3.9	11.5	2.9	2.3
	70歳以上	100.0	24.0	36.7	11.8	5.4	15.1	2.8	4.2
	(再)65歳以上	100.0	24.7	37.8	12.5	4.8	14.1	2.5	3.7
【男性】	男性計	100.0	25.4	32.8	14.2	5.6	15.6	3.6	2.7
	29歳以下	100.0	24.2	21.1	10.5	6.0	32.6	4.2	1.4
	30～39歳	100.0	22.2	23.6	13.0	6.8	27.7	5.6	1.0
	40～49歳	100.0	23.8	29.0	15.9	5.4	18.8	4.3	2.7
	50～59歳	100.0	27.2	34.1	15.1	6.4	10.1	4.8	2.1
	60～69歳	100.0	27.1	36.5	16.8	4.8	9.9	2.1	2.9
	70歳以上	100.0	26.0	38.5	12.3	5.3	11.3	2.6	4.0
	(再)65歳以上	100.0	26.8	38.6	13.4	4.9	10.7	2.2	3.5
【女性】	女性計	100.0	20.7	34.1	14.5	4.4	19.5	4.3	2.6
	29歳以下	100.0	15.0	27.0	14.7	3.0	34.7	4.3	1.3
	30～39歳	100.0	18.3	27.4	16.8	3.8	24.8	7.8	1.1
	40～49歳	100.0	18.5	30.7	15.9	4.7	22.5	5.6	2.1
	50～59歳	100.0	21.0	35.2	16.8	4.9	16.3	3.8	1.9
	60～69歳	100.0	22.9	40.6	15.1	3.0	13.1	3.7	1.7
	70歳以上	100.0	22.5	35.2	11.3	5.5	18.0	2.9	4.4
	(再)65歳以上	100.0	22.9	37.1	11.7	4.7	17.0	2.7	3.9

第19表 世帯員数の構成割合、性・世帯の生活意識別にみた今後の社会保障制度を維持するための財源として税と社会保険料のどちらを中心にしていくべきだと思うか別

		(単位:%)							
		総数	税金でまかなうべき	どちらかといえば税金でまかなうべき	どちらかといえば社会保険料でまかなうべき	社会保険料でまかなうべき	どちらでもいい	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	23.0	33.4	14.4	5.0	17.6	4.0	2.6
	大変苦しい	100.0	28.5	29.4	11.3	4.3	18.5	5.3	2.7
	やや苦しい	100.0	22.1	37.2	13.6	4.8	15.9	3.8	2.6
	普通	100.0	20.0	34.5	17.4	5.1	18.5	3.2	1.3
	ゆとりがある	100.0	18.4	30.9	19.4	8.1	17.8	3.4	1.9
	不詳	100.0	23.1	28.3	12.6	5.8	18.2	4.0	8.0
【男性】	男性計	100.0	25.4	32.8	14.2	5.6	15.6	3.6	2.7
	大変苦しい	100.0	31.4	27.1	12.7	5.0	17.1	4.6	2.1
	やや苦しい	100.0	25.2	37.3	12.4	5.1	13.8	3.5	2.7
	普通	100.0	21.9	34.8	17.6	6.1	15.4	2.7	1.4
	ゆとりがある	100.0	20.8	26.2	20.8	8.7	15.4	6.0	2.0
	不詳	100.0	24.3	27.0	9.5	6.4	19.3	3.0	10.5
【女性】	女性計	100.0	20.7	34.1	14.5	4.4	19.5	4.3	2.6
	大変苦しい	100.0	25.9	31.5	10.1	3.7	19.7	5.9	3.2
	やや苦しい	100.0	19.2	37.1	14.7	4.6	17.9	4.0	2.5
	普通	100.0	18.2	34.2	17.1	4.2	21.4	3.6	1.2
	ゆとりがある	100.0	16.4	35.1	18.1	7.6	19.9	1.2	1.8
	不詳	100.0	22.1	29.3	15.2	5.3	17.3	4.8	6.1

注:客体数が少ないため、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合算し、「ゆとりがある」として集計している。

第20表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の社会保障の給付と負担の水準についてどのようにあるべきだと思うか別

		(単位:%)								
		総数	社会保障の給付水準を引上げ、そのための負担増もやむを得ない	社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない	社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない	社会保障の給付水準を引下げ、従来どおりの負担とすべき	社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき	わからない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	11.6	27.7	13.4	7.5	7.7	25.1	4.2	2.8
	29歳以下	100.0	7.4	18.1	10.8	9.6	7.9	40.3	4.1	1.9
	30～39歳	100.0	10.5	21.1	13.6	8.6	9.8	30.1	5.1	1.2
	40～49歳	100.0	10.2	26.2	15.0	7.5	7.2	25.1	6.0	2.7
	50～59歳	100.0	15.7	29.7	13.7	6.4	7.9	19.3	5.4	1.8
	60～69歳	100.0	11.7	34.8	12.4	7.6	7.6	19.2	3.9	2.8
	70歳以上	100.0	11.7	27.7	13.5	7.1	7.0	26.2	2.5	4.2
	(再)65歳以上	100.0	11.9	29.6	13.2	7.3	7.0	24.3	2.6	3.9
【男性】	男性計	100.0	13.8	28.3	14.0	7.8	8.1	20.2	4.9	3.0
	29歳以下	100.0	7.7	18.9	11.2	11.2	8.1	37.2	3.9	1.8
	30～39歳	100.0	10.6	21.5	14.5	9.3	13.5	24.4	5.2	1.0
	40～49歳	100.0	12.4	25.0	15.9	8.8	6.2	20.9	7.2	3.5
	50～59歳	100.0	17.9	28.5	14.2	6.4	8.7	15.9	6.4	1.9
	60～69歳	100.0	13.5	36.6	12.1	6.9	7.8	14.8	4.4	3.9
	70歳以上	100.0	15.5	29.1	14.6	7.3	6.5	19.9	3.3	3.7
	(再)65歳以上	100.0	15.0	31.5	13.6	7.5	6.8	18.4	3.5	3.7
【女性】	女性計	100.0	9.7	27.2	12.9	7.2	7.4	29.5	3.5	2.6
	29歳以下	100.0	7.0	17.3	10.3	8.0	7.7	43.3	4.3	2.0
	30～39歳	100.0	10.5	20.8	12.8	8.0	6.5	35.2	5.0	1.3
	40～49歳	100.0	8.0	27.3	14.1	6.4	8.2	29.1	4.9	2.0
	50～59歳	100.0	13.7	30.8	13.3	6.3	7.1	22.7	4.4	1.6
	60～69歳	100.0	9.9	33.1	12.7	8.3	7.4	23.5	3.4	1.8
	70歳以上	100.0	8.7	26.6	12.7	7.0	7.4	31.1	1.8	4.6
	(再)65歳以上	100.0	9.4	28.0	12.9	7.2	7.2	29.3	1.9	4.1

第21表 世帯員数の構成割合、性・年齢階級別にみた今後の高齢者と現役世代の負担水準はどのようにあるべきだと思うか別

		(単位:%)								
		総数	現役世代の負担を引き下げるため、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない	現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者の負担を現状で維持するため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者の負担を引き下げ、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者・現役世代ともに負担が重くなることはやむを得ない	わからない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	6.7	18.7	13.9	5.1	13.8	28.5	6.2	7.2
	29歳以下	100.0	13.7	17.9	9.1	2.1	12.6	35.6	3.6	5.5
	30～39歳	100.0	12.9	22.1	11.6	3.4	13.2	26.0	6.0	4.9
	40～49歳	100.0	6.9	20.6	12.8	5.8	13.3	26.7	7.9	6.0
	50～59歳	100.0	7.4	20.4	15.8	6.4	13.6	23.2	6.3	7.0
	60～69歳	100.0	4.4	19.7	16.6	5.9	13.7	25.9	7.6	6.1
	70歳以上	100.0	3.5	15.0	13.7	5.0	14.8	33.1	4.9	10.0
	(再)65歳以上	100.0	3.5	16.2	14.7	5.3	14.4	31.4	5.5	9.0
【男性】	男性計	100.0	8.1	19.4	14.9	5.8	14.2	23.8	6.4	7.4
	29歳以下	100.0	15.1	19.3	9.5	2.5	11.2	33.3	3.2	6.0
	30～39歳	100.0	16.1	22.4	11.6	2.1	13.5	24.0	5.2	5.2
	40～49歳	100.0	8.0	21.5	12.9	6.4	13.2	22.5	8.0	7.5
	50～59歳	100.0	9.0	19.5	16.9	7.7	13.8	19.8	6.3	6.9
	60～69歳	100.0	5.6	21.1	16.9	7.5	13.0	20.9	8.4	6.6
	70歳以上	100.0	4.0	15.5	16.3	5.7	17.1	26.3	5.6	9.6
	(再)65歳以上	100.0	4.4	17.2	16.9	6.2	15.5	24.6	6.6	8.7
【女性】	女性計	100.0	5.4	18.1	12.9	4.5	13.5	32.7	5.9	6.9
	29歳以下	100.0	12.3	16.7	8.7	1.7	14.0	37.7	4.0	5.0
	30～39歳	100.0	9.9	21.9	11.6	4.6	13.0	27.8	6.7	4.6
	40～49歳	100.0	5.9	19.7	12.6	5.3	13.4	30.8	7.7	4.6
	50～59歳	100.0	5.7	21.3	14.8	5.1	13.3	26.5	6.3	7.0
	60～69歳	100.0	3.2	18.3	16.4	4.4	14.5	30.8	6.8	5.5
	70歳以上	100.0	3.2	14.6	11.6	4.5	13.0	38.5	4.3	10.3
	(再)65歳以上	100.0	2.8	15.3	13.0	4.6	13.4	37.1	4.6	9.3

第2表 世帯員数の構成割合、性・所得階級別にみた今後の高齢者と現役世代の負担水準はどのようにあるべきだと思うか別

(単位:%)

		総数	現役世代の負担を引き下げるため、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない	現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者の負担を現状で維持するため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者の負担を引き下げるため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない	高齢者・現役世代ともに負担が重くなることはやむを得ない	わからない	その他	不詳
【全体】	総数	100.0	6.7	18.7	13.9	5.1	13.8	28.5	6.2	7.2
	100万円未満	100.0	5.7	16.5	11.5	5.7	9.3	34.8	7.2	9.3
	100万円～200万円未満	100.0	4.2	14.6	14.6	5.4	14.3	30.6	6.0	10.1
	200万円～300万円未満	100.0	4.5	12.0	15.9	7.8	13.9	34.6	5.8	5.4
	300万円～400万円未満	100.0	3.6	18.1	14.5	6.5	15.7	28.7	5.8	7.0
	400万円～500万円未満	100.0	6.7	17.6	13.6	5.0	14.5	28.4	6.1	8.1
	500万円～600万円未満	100.0	8.6	21.4	13.7	4.2	13.2	29.3	5.3	4.4
	600万円～700万円未満	100.0	7.8	20.6	15.5	5.0	14.7	22.2	6.5	7.7
	700万円～800万円未満	100.0	8.5	19.7	16.7	3.3	14.1	25.5	5.3	6.9
	800万円～900万円未満	100.0	5.8	20.9	15.5	3.1	14.6	28.0	7.2	4.9
	900万円～1,000万円未満	100.0	12.4	25.6	12.7	3.0	16.0	20.8	6.1	3.3
	1,000万円以上	100.0	8.9	22.6	11.5	4.6	13.9	25.4	7.0	6.1
不詳	100.0	5.2	16.5	11.0	5.7	9.4	33.2	6.0	13.1	
【男性】	男性計	100.0	8.1	19.4	14.9	5.8	14.2	23.8	6.4	7.4
	100万円未満	100.0	7.6	21.9	15.2	9.5	10.5	24.8	5.7	4.8
	100万円～200万円未満	100.0	7.1	13.4	16.0	5.6	13.4	26.9	5.6	11.9
	200万円～300万円未満	100.0	5.2	11.5	19.0	9.5	15.7	26.4	7.2	5.5
	300万円～400万円未満	100.0	4.3	17.1	14.5	7.3	17.5	26.1	5.8	7.3
	400万円～500万円未満	100.0	8.1	19.0	13.4	5.8	14.7	23.8	6.6	8.6
	500万円～600万円未満	100.0	11.0	21.0	14.5	4.3	11.0	28.0	5.6	4.6
	600万円～700万円未満	100.0	7.3	22.5	16.5	6.0	14.6	19.0	7.0	7.3
	700万円～800万円未満	100.0	9.4	22.0	17.7	4.7	14.1	19.9	5.1	7.2
	800万円～900万円未満	100.0	5.3	22.9	16.3	4.0	18.1	22.0	6.6	4.8
	900万円～1,000万円未満	100.0	16.0	25.5	14.4	2.7	13.3	18.1	5.9	4.3
	1,000万円以上	100.0	10.3	23.4	12.8	4.5	14.6	20.6	8.3	5.6
不詳	100.0	7.4	16.2	10.8	6.1	9.1	28.4	5.4	16.6	
【女性】	女性計	100.0	5.4	18.1	12.9	4.5	13.5	32.7	5.9	6.9
	100万円未満	100.0	4.6	13.2	9.2	3.4	8.6	40.8	8.0	12.1
	100万円～200万円未満	100.0	2.4	15.4	13.7	5.3	14.9	33.0	6.3	8.9
	200万円～300万円未満	100.0	3.8	12.5	13.4	6.4	12.3	41.6	4.7	5.3
	300万円～400万円未満	100.0	2.9	19.2	14.5	5.6	13.9	31.3	5.8	6.7
	400万円～500万円未満	100.0	5.4	16.3	13.9	4.1	14.4	32.8	5.6	7.5
	500万円～600万円未満	100.0	6.1	21.8	12.9	4.1	15.4	30.6	5.0	4.1
	600万円～700万円未満	100.0	8.4	18.7	14.5	3.9	14.8	25.5	6.1	8.1
	700万円～800万円未満	100.0	7.6	17.5	15.8	2.1	14.1	30.9	5.5	6.5
	800万円～900万円未満	100.0	6.4	18.7	14.6	2.3	11.0	34.2	7.8	5.0
	900万円～1,000万円未満	100.0	9.2	25.7	11.2	3.4	18.4	23.3	6.3	2.4
	1,000万円以上	100.0	7.5	21.9	10.2	4.6	13.3	30.1	5.8	6.6
不詳	100.0	3.5	16.8	11.2	5.3	9.6	37.0	6.4	10.4	

注：所得は、世帯の総所得(雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、財産所得、家内労働所得及び雑収入並びに私的給付(仕送り、企業年金・個人年金等の合計額)の合計額に社会保障による現金給付額を加えたもの)を世帯人員の平方根で除したもの(等価総所得)である。

調 査 票

2019年 社会保障に関する意識調査 ～ 制度に関する情報の内容、健康づくり、給付と負担の水準 ～

【お願い】

現在、日本では少子高齢化といった人口構成の大きな変化、非正規労働者の増大など雇用基盤の変化、家族形態・地域基盤の変化など、社会保障制度を支える社会経済情勢には大きな変化が生じています。その中で社会保障制度は、その機能を維持し、制度の持続可能性を確保するための改革が求められています。

この調査は、社会保障制度に関する情報の入手や関心度、給付と負担の水準などについての意識を調査することで、今後の社会保障制度改革を含めた厚生労働行政施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とした大切な調査です。

お答えになった内容については必ず秘密を守りますので、ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

【記入上の注意】

1. 調査票は、20歳以上の方ひとりひとりにお配りいたしますので、それぞれの方がお答えください。
2. お答えは該当する番号を○で囲むか、数字を記入してください。
3. 質問の内容や、その他わからないことがありましたら、調査員がお伺いしたときにおたずねください。

【この欄は、あらかじめ調査員の方が記入してください】

地 区					単 位 区		世 帯	
番 号					番 号		番 号	

都道府県
指定都市名 _____
中核市

福祉事務所名 _____

調査員氏名 _____

I あなた自身のことについてお聞かせください。

問 1 あなたの出生年月と性別をお答えください。

該当するものの番号を○で囲み、出生年月を記入してください。

1. 明治 3. 昭和
2. 大正 4. 平成

--	--

年

--	--

月

1. 男 2. 女

II 社会保障制度に関する情報を得る手段についてお聞かせください。


問 2 年金、医療、介護、子ども・子育て支援などの社会保障制度について、あなたはどれくらい関心がありますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 積極的にそれらの情報を集めている
2. それらの情報を見るようにしている
3. あまり関心はないが、時々それらの情報を目にすることはある
4. 全く関心がない
5. その他 ()

問 3 社会保障制度に関する情報は、どのような方法で入手することが多いですか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 行政機関の窓口などで直接聞く
2. 行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物
3. 行政機関のホームページ (SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)
4. 新聞
5. テレビ
6. 書籍
7. 一般のホームページ (SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)
8. その他の入手方法 ()
9. その様な情報を入手することはない  問6にお進みください。

問 4

行政機関からの社会保障制度に関する情報の内容について、不満に思うことはありますか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 専門用語や文字数が多くて内容が理解できない (説明がわかりづらい)
2. 情報が多すぎてどこを見ればいいのかわからない (自分に必要な情報を見つけにくい)
3. 得られる情報の量が少ない (概要のみなど、具体的に説明されていない)
4. 最新の情報かどうかかわかりづらい (情報が古いことがある)
5. その他の不満 ()
6. 特に不満はない

問 5

社会保障制度に関する情報を入手する方法について、不満に思うことはありますか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. どうやって情報を調べたらいいのかわからない
(インターネットで検索する際のキーワードやどんな書籍を読めばいいのかわからない等)
2. 担当の窓口がどこかわからない
3. 窓口に行くのに手間がかかる
4. サイトのトップページから必要な情報にたどりつくまでに手間がかかる
5. その他の不満 ()
6. 特に不満はない

問 6

社会保障制度に関する情報について、今後どのような方法での情報提供が増えればよいと思いますか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 行政機関の窓口などで直接聞く
2. 行政機関のパンフレットや広報誌などの刊行物
3. 行政機関のホームページ (SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)
4. 新聞
5. テレビ
6. 書籍
7. 一般のホームページ (SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を含む)
8. その他の方法 ()
9. 特に情報を得たいとは思わない

Ⅲ 健康づくりに対する意識についてお聞かせください。

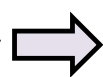
問 7

あなたは健康づくりのための取り組みをしていますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

(補問1)

1. 積極的に健康づくりに取り組んでいる
2. 今後、取り組むよう計画している
3. 何かした方がいいとは思いますが、特に取り組む予定はない
4. 健康づくりをする必要はないと思っている
5. その他 ()



補問2にお進みください。

補問1については、問7の質問で「1」または「2」を選択された方にお伺いします。

(補問1)

あなたがすでに取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている健康づくりはどのようなものですか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 週に1回以上の習慣的な運動(ジョギングやトレーニング、散歩など)
2. 食生活の改善(減塩や野菜の摂取など)
3. 節煙または禁煙
4. イベント等への参加(健康セミナーなど)
5. 血圧や心拍数などの計測器を利用した健康管理
6. 早寝早起きなど規則的な生活
7. ボランティアなどの社会貢献活動への参加
8. その他の取り組み ()

補問2については、問7の質問で「3」または「4」を選択された方にお伺いします。

(補問2)

あなたはどのようなきっかけがあれば健康づくりを始めようと思いますか。

あてはまるものを次の中から選んで、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 医師などからの指導、健康診断や人間ドックの結果
2. 家族や友人からの勧め
3. 家族や友人と一緒にできること
4. 興味のあるイベント
5. 何らかの特典を受けられること
6. その他のきっかけ ()
7. 何があっても健康づくりをするつもりはない

問 8

あなたは老後に介護施設や保育施設で、比較的労力を要しない作業に参加することについて、どのようにお考えですか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 既に参加している
2. 無償でもいいので参加したい
3. 地域で利用できるポイント制度などの特典があれば参加したい
4. 継続的に作業に参加することで、介護施設等を優先的に利用できるのであれば参加したい
5. 交通費が支払われるのであれば参加したい
6. 報酬が支払われるのであれば参加したい
7. その他の参加条件 ()
8. 参加したいとは思わない

IV 社会保障制度に対する意識についてお聞かせください。**問 9**

あなたは将来どのようなことを最も不安に感じていますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 公的年金が老後生活に十分であるかどうか
2. あなたやあなたの親の医療や介護が必要になり、その負担が増大してしまうのではないか
3. 高齢者向けの就労の場が十分に確保されないのではないか
4. リストラ等により解雇されるのではないか
5. 給与や諸手当が減額されるのではないか
6. 企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないか
7. 子育てや子どもの教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないか
8. その他の不安 ()
9. 特に不安はない

問10

あなた自身の老後の生計を支える手段として、どのようなものを考えていますか。
「1番目に頼りにするもの」と「2番目に頼りにするもの」をそれぞれお答えください。
(既に老後生活を送られている方は、現在の生計を支えているものをお答えください。)

あてはまるものを次の中から**それぞれ1つずつ**選んで、該当する番号に○を付けてください。
(「1番目に頼りにするもの」と「2番目に頼りにするもの」での重複回答不可)

1番目に頼りにするもの

1. 自分または配偶者の就労による収入
2. 公的年金（国民年金や厚生年金など）
3. 勤務先の企業年金
4. 貯蓄または退職金の取り崩し
5. 親など親族からの相続
6. 子どもなど親族からの援助や仕送り
7. 家賃や銀行の利子などの資産収入
8. 個人年金
9. その他（ ）

2番目に頼りにするもの

1. 自分または配偶者の就労による収入
2. 公的年金（国民年金や厚生年金など）
3. 勤務先の企業年金
4. 貯蓄または退職金の取り崩し
5. 親など親族からの相続
6. 子どもなど親族からの援助や仕送り
7. 家賃や銀行の利子などの資産収入
8. 個人年金
9. その他（ ）

問11

あなたが国民生活に役立っていると考える社会保障の分野はどれですか。
また、今後、充実させる必要があると考える社会保障の分野はどれですか。

あてはまるものを次の中から**それぞれ3つまで**選んで、該当する番号に○を付けてください。
(AとBそれぞれ3つまで複数回答可、AとBでの重複可)

A. 国民生活に役立っている社会保障分野

1. 老後の所得保障（年金）
2. 老人医療や介護
3. 子ども・子育て支援
4. 医療保険・医療供給体制など
5. 健康の保持・促進
6. 障害者福祉
7. 生活保護
8. 雇用の確保や失業対策
9. その他（ ）

B. 今後、充実させるべき社会保障分野

1. 老後の所得保障（年金）
2. 老人医療や介護
3. 子ども・子育て支援
4. 医療保険・医療供給体制など
5. 健康の保持・促進
6. 障害者福祉
7. 生活保護
8. 雇用の確保や失業対策
9. その他（ ）

問12

あなたは税と社会保険料の負担水準についてどのように思いますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 生活が苦しくなるほど重い
2. 生活にはあまり影響しないが負担感がある
3. 特に負担感はない
4. その他 ()

問13

今後の社会保障制度を維持するための財源として、税と社会保険料のどちらを中心にしてい
くべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 税金でまかなうべき
2. どちらかといえば税金でまかなうべき
3. どちらかといえば社会保険料でまかなうべき
4. 社会保険料でまかなうべき
5. どちらでもいい
6. その他 ()

問14

今後の社会保障の給付と負担の水準について、どのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 社会保障の給付水準を引き上げ、そのための負担増もやむを得ない
2. 社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない
3. 社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない
4. 社会保障の給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とすべき
5. 社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき
6. わからない
7. その他 ()

問15

あなたは今後の高齢者と現役世代の負担水準はどのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から**1つだけ**選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 現役世代の負担を引き下げするため、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない
2. 現役世代の負担を今より重くしないよう、高齢者の負担が重くなることはやむを得ない
3. 高齢者の負担を現状で維持するため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない
4. 高齢者の負担を引き下げするため、現役世代の負担が重くなることはやむを得ない
5. 高齢者・現役世代ともに負担が重くなることはやむを得ない
6. わからない
7. その他 ()

ご協力ありがとうございました。